台風１９号による被害と対応の状況について
ー初動の1ヶ月ー

（令和元年11月14日とりまとめ）

国土交通省 東北地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

令和元年10月12日出水（台風第19号）の概要

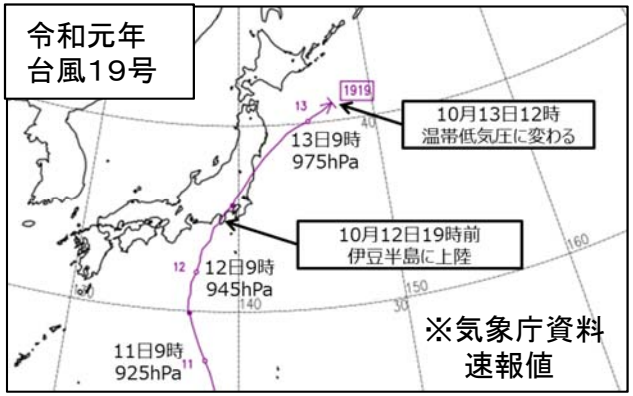
国土交通省

資料1

○台風19号の影響により10月12日夕方から、東北地方の広い範囲で非常に激しい降雨となり、累加雨量は多いところで600mmを超過。

○宮城県の青野雨量観測所（国交省所管）では累加雨量410mm、筆甫雨量観測所（気象庁所管）では累加雨量594mm、大内雨量観測所（宮城県所管）では累加雨量612mmを記録。

○鳴瀬川水系では9水位観測所、名取川水系で1水位観測所、阿武隈川水系の8水位観測所、最上川水系の3水位観測所で観測史上最高水位を更新。

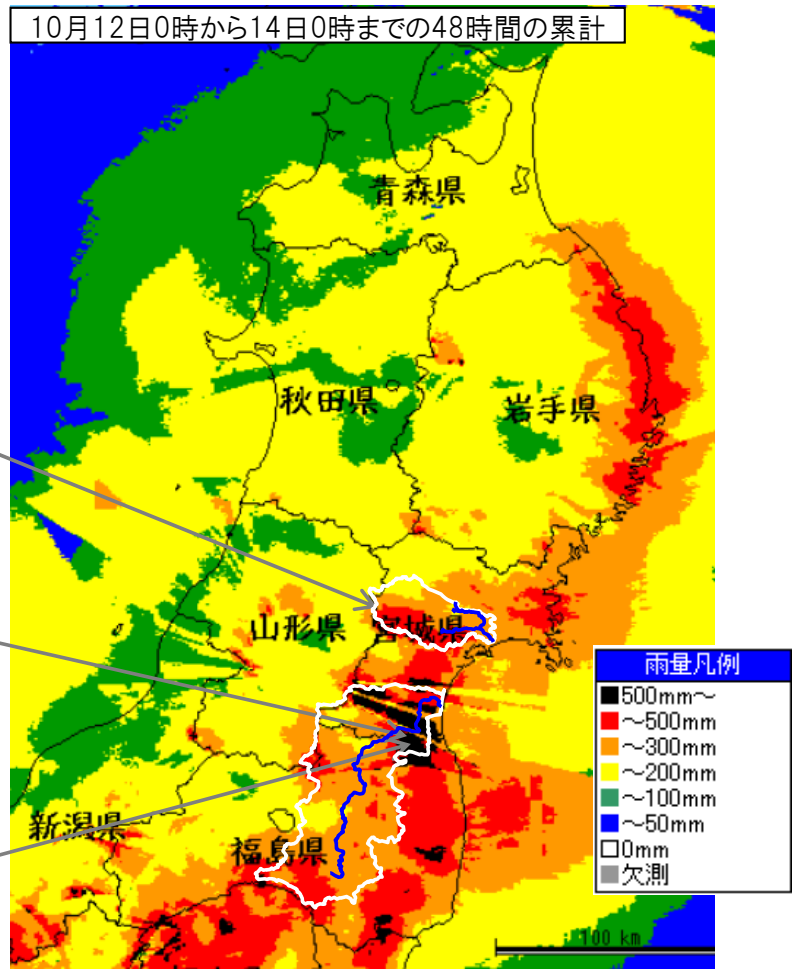


○青野（宮城県）：410mm※
（鳴瀬川水系大滝川＿宮城県加美郡加美町）
※年間降水量（1,763mm）の約3か月分

○大内（宮城県）：612mm※
（阿武隈川水系雉子尾川＿宮城県丸森町）
※年間降水量（1,683mm）の約4か月分

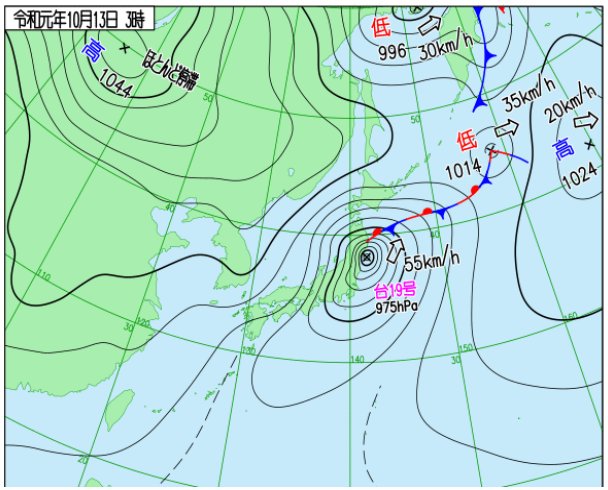
○筆甫（気象庁）：594mm※
（阿武隈川水系＿宮城県伊具郡丸森町）
※年間降水量（1,483mm）の約5ヶ月分

累加雨量レーダ※3

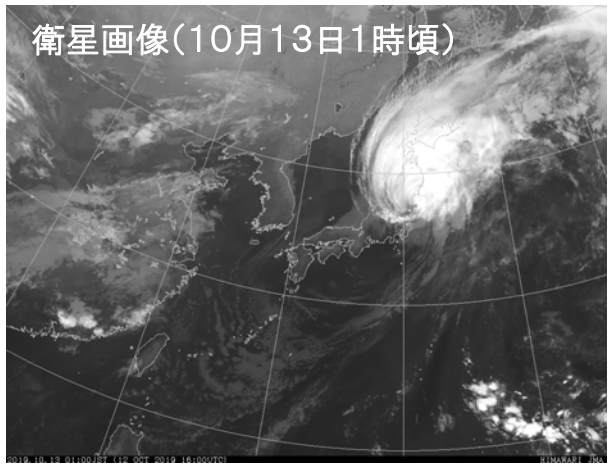


※3 累加レーダー雨量図は統一河川情報システムより

天気図（10月13日3時頃）※4



衛星画像（10月13日1時頃）

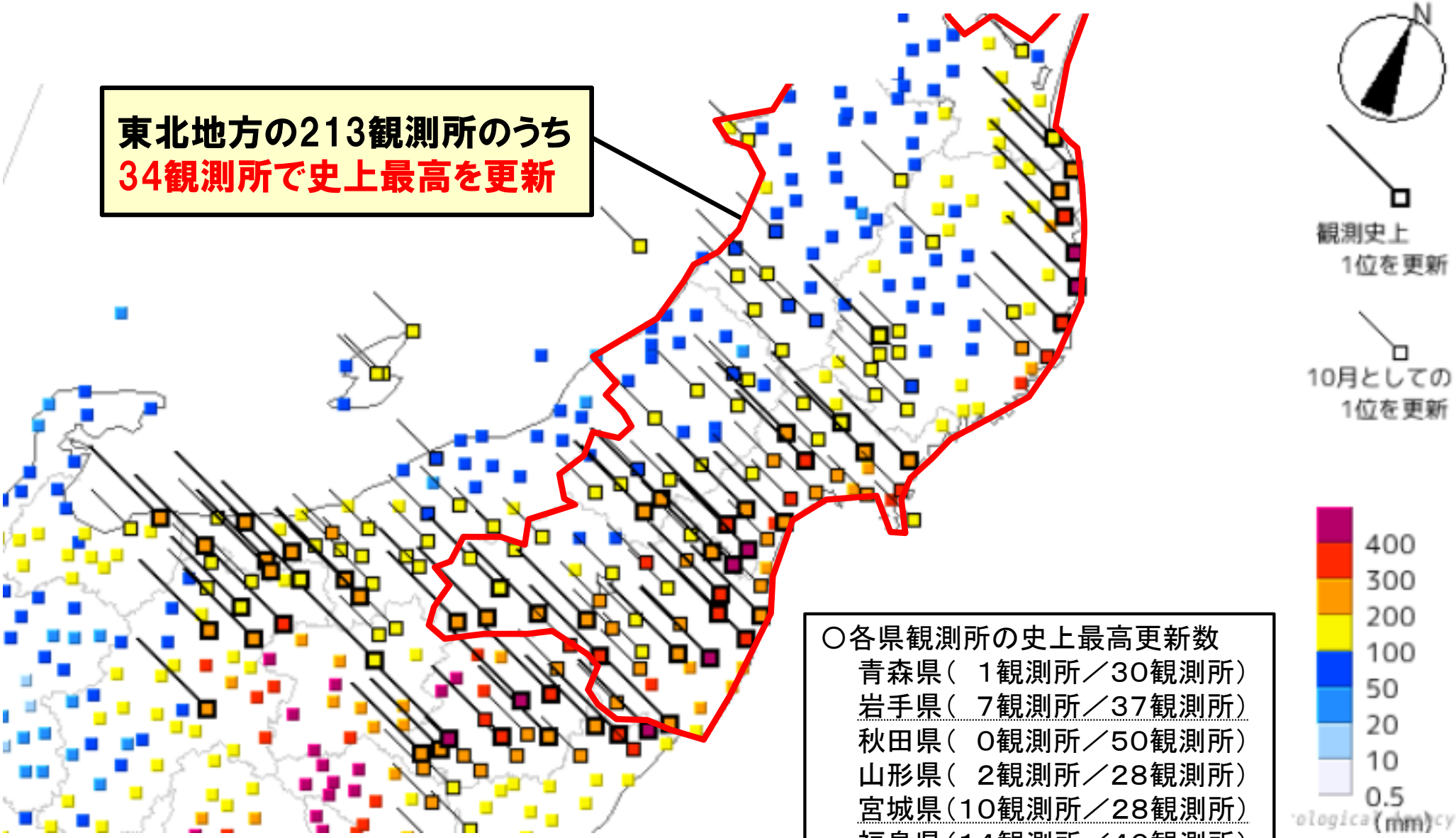


※4 天気図、衛星画像は気象庁資料より

令和元年10月12日出水（台風第19号）全国の降雨状況

国土交通省

24時間降水量の日最大値
（10月12日22時00分～13日22時00分）



○各県観測所の史上最高更新数
青森県（ 1観測所／30観測所）
岩手県（ 7観測所／37観測所）
秋田県（ 0観測所／50観測所）
山形県（ 2観測所／28観測所）
宮城県（10観測所／28観測所）
福島県（14観測所／40観測所）

気象庁資料より

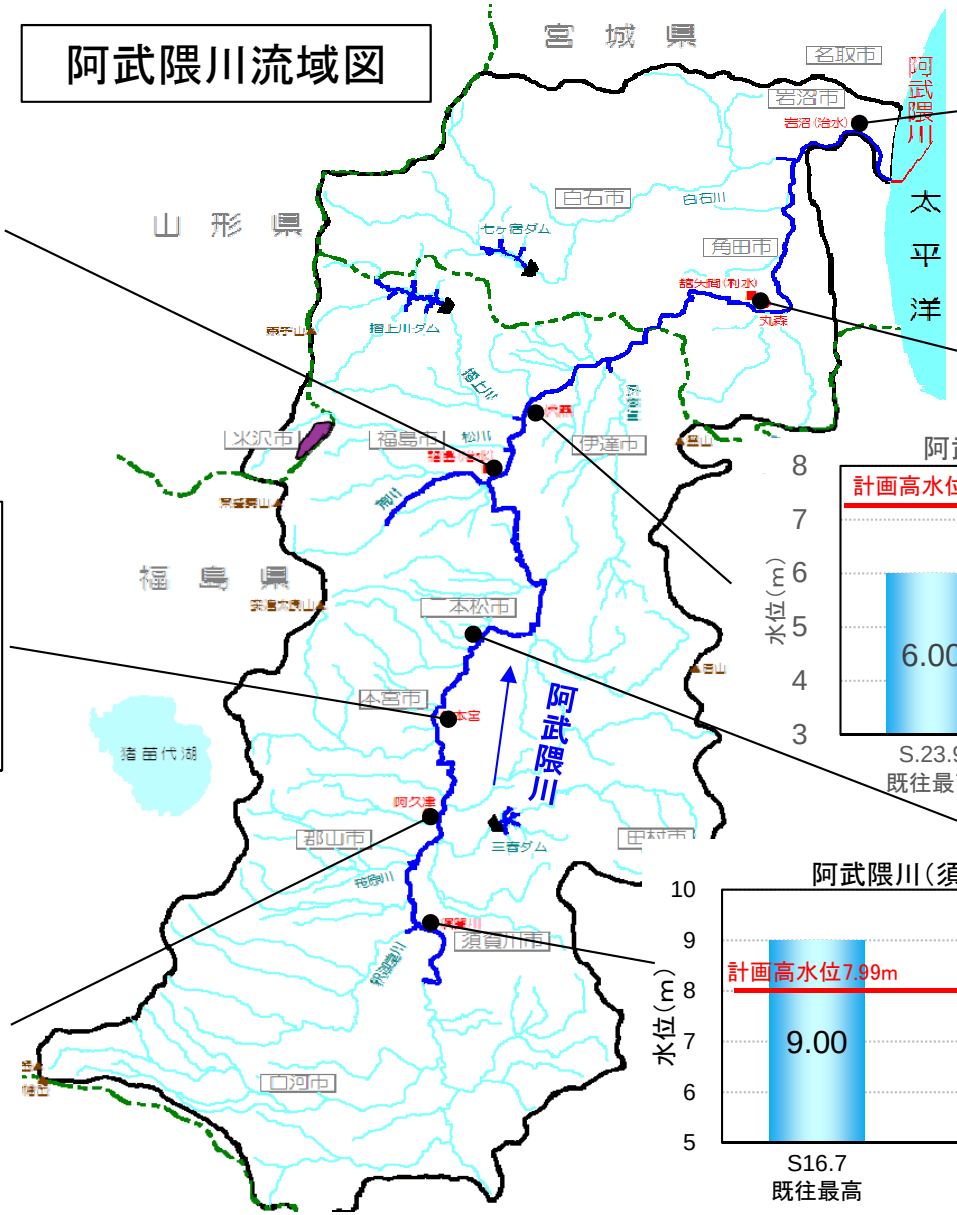
阿武隈川流域における水位の状況

国土交通省

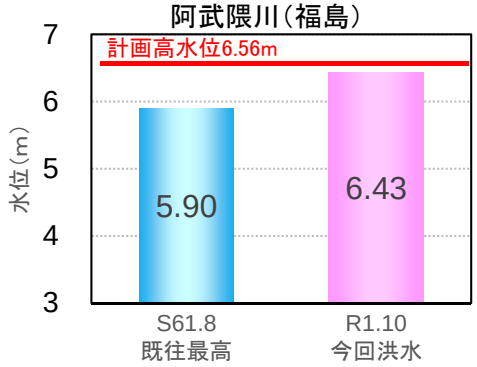
■ 阿武隈川では、須賀川（福島県須賀川市）から丸森（宮城県丸森町）までの水位観測所で既往最高水位を超過。

■ 特に、福島県内の本宮（本宮市）、阿久津（郡山市）、須賀川（須賀川市）地点においては計画高水位を超過。

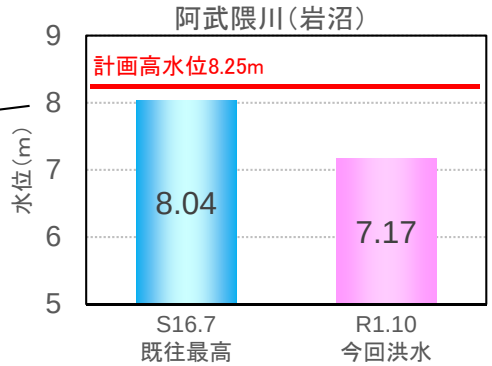
阿武隈川流域図



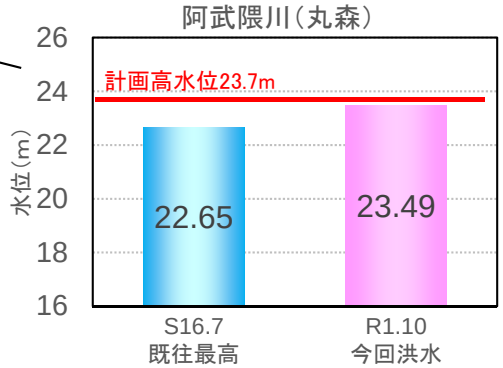
阿武隈川（福島）



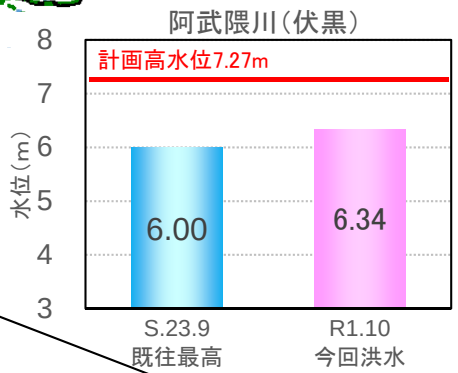
阿武隈川（岩沼）



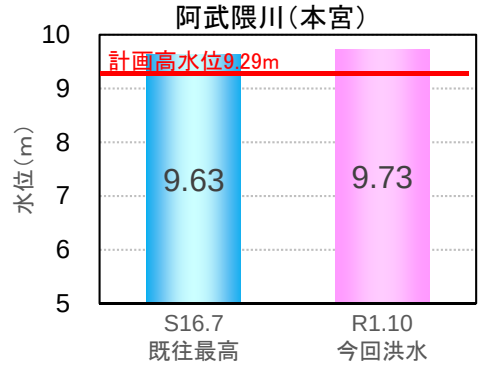
阿武隈川（丸森）



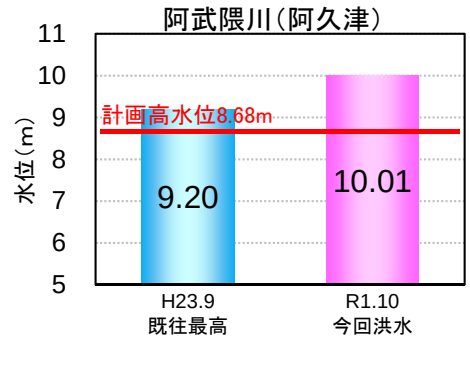
阿武隈川（伏黒）



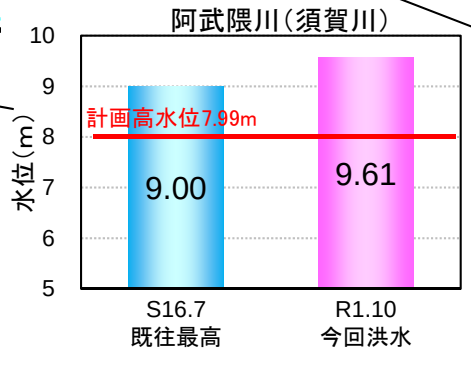
阿武隈川（本宮）



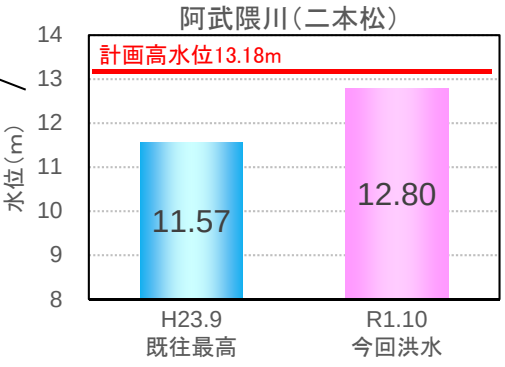
阿武隈川（阿久津）



阿武隈川（須賀川）



阿武隈川（二本松）



※水位数値は10分データ

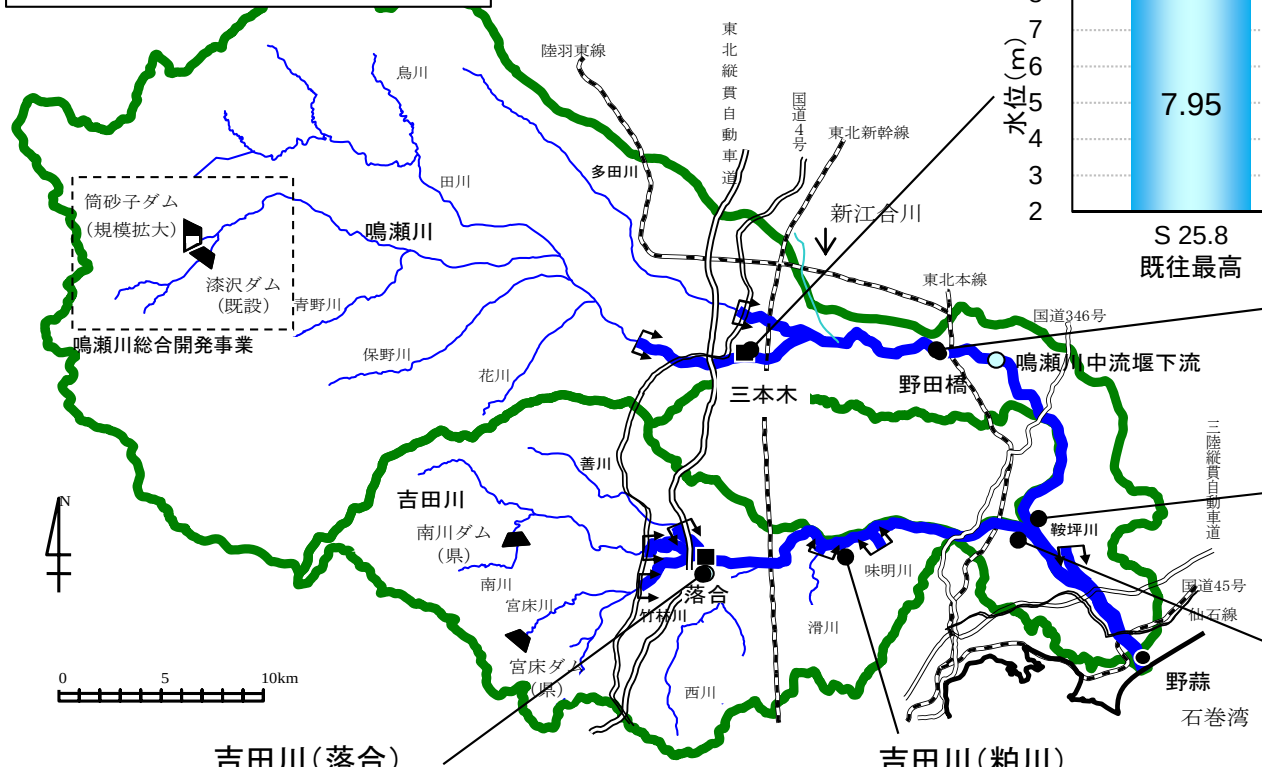
吉田川流域における水位の状況

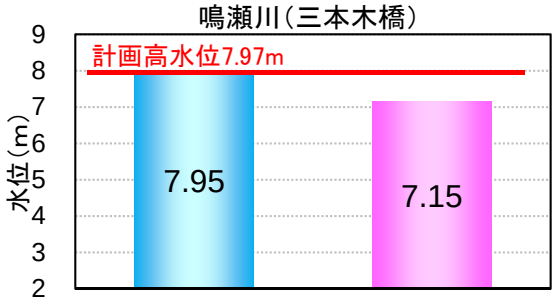
国土交通省

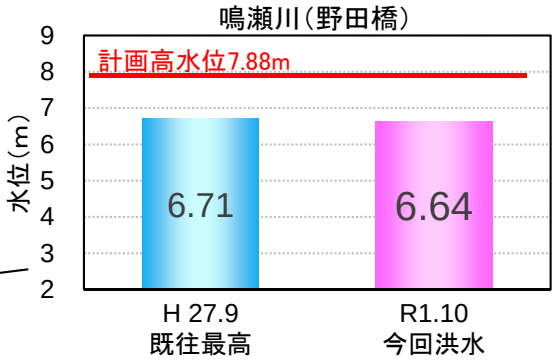
■ 鳴瀬川水系吉田川では、粕川（宮城県大郷町）から鹿島台（宮城県松島町）までの水位観測所で既往最高水位を超過。

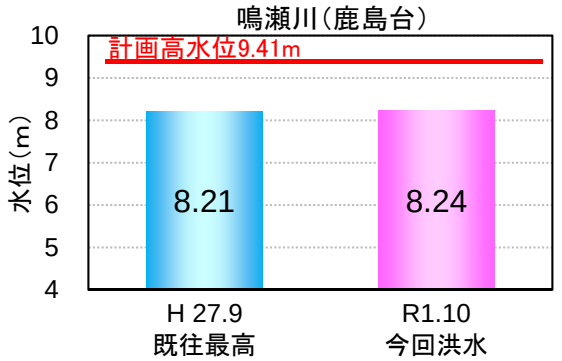
■ 吉田川の落合（宮城県大和町）、粕川（宮城県大郷町）、鹿島台（宮城県松島町）地点においては計画高水位を超過。

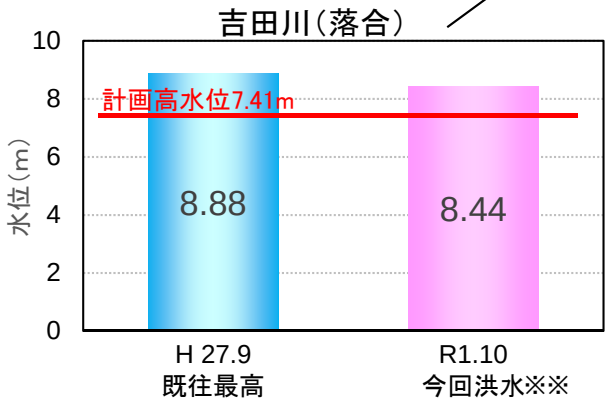
鳴瀬川流域図

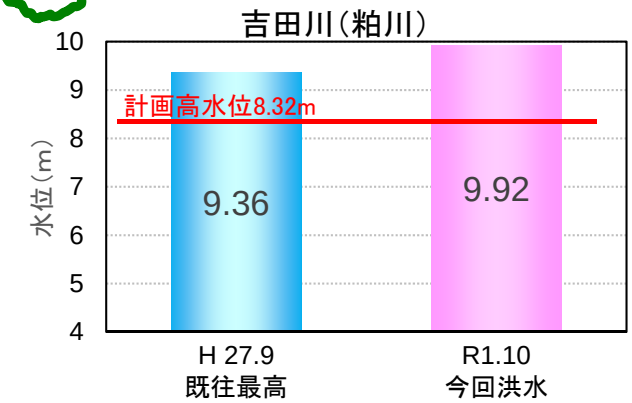


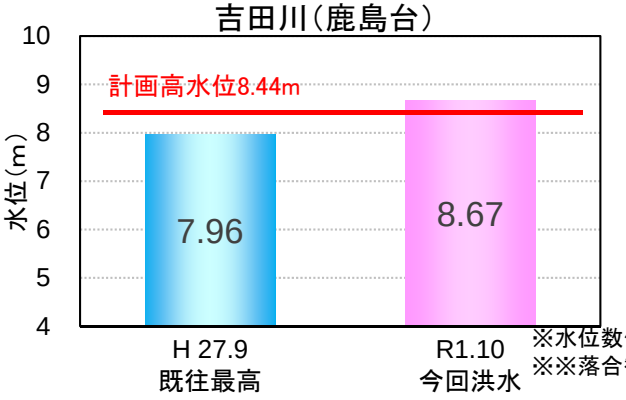












※水位数値は10分データ
※※落合観測所は量水標読み値
（水位計不具合のため）

事前体制の強化（災害対策本部設置）

国土交通省

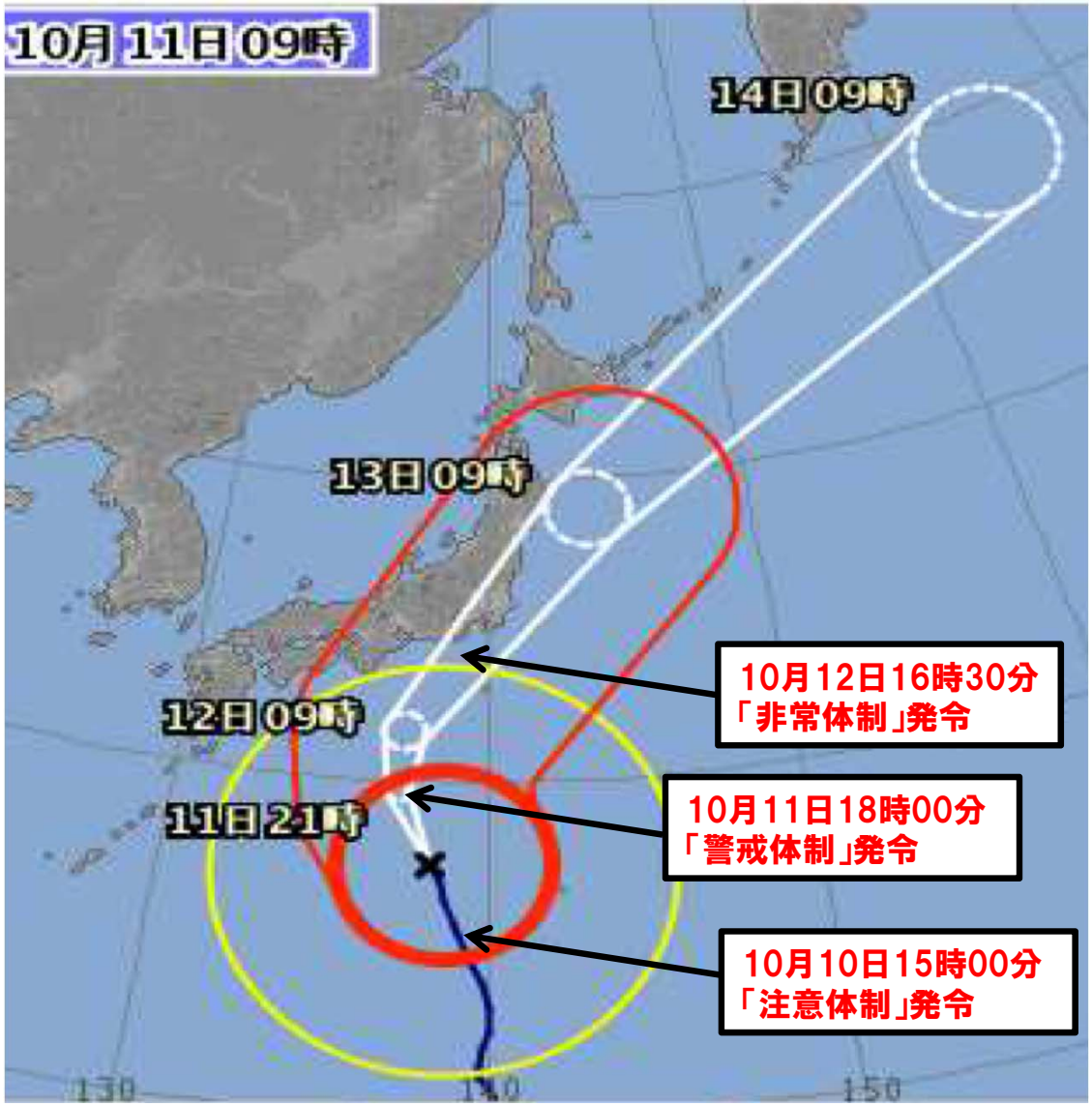
資料2-(1)

■気象庁の台風情報に基づき、東北地方整備局災害対策本部（注意体制）を10月10日15:00に設置。

10月10日　15:00　注意体制
（台風接近に備え事前体制確保）

10月11日　18:00　警戒体制
（台風により大きな被害のおそれ）

10月12日　16:30　非常体制
（阿武隈川氾濫などにより甚大な被害の可能性が高まったため）



※気象庁HPに体制発令日時を追記

東北地方整備局　災害対策本部の状況

国土交通省

■災害対策室と大会議室を開放し、他地整からのTEC-FORCE広域派遣の受入スペースや災害対応の機能を確保。
■災害対応の情報共有を図るため、TV会議システムを活用した会議を開催。
（11/12現在：本省非常対策本部会議（18回）、東北整備局災害対策本部会議（27回））

赤羽国土交通大臣とのTV会議（10月13日11時頃）

東北地整第17回災害対策本部会議の状況（10月23日）

応援地整TEC司令部の状況（10月23日）

災害対策室の状況（10月18日）

「逃げ遅れゼロ」を目指した取組

気象台と東北地整の合同記者会見

- 台風19号の接近にあたり、10月11日に東北地方整備局と仙台管区気象台が合同で説明会を10月11日に開催し、在仙　5テレビ局全てが、ニュースで会見内容を放送し、迅速かつ広範囲の注意喚起を実施。
- また、台風上陸直前・上陸後の2回記者会見を行い、河川の現状と今後の注意点について解説し、継続して警戒を呼びかけ。

東北地方整備局と仙台管区気象台の合同説明会
（令和元年10月11日　NHK「てれまさむね」より）

・第1回目　10月11日　11:00～
・第2回目　10月12日　21:30～
・第3回目　10月13日　 2:00～

「逃げ遅れゼロ」を目指した取組

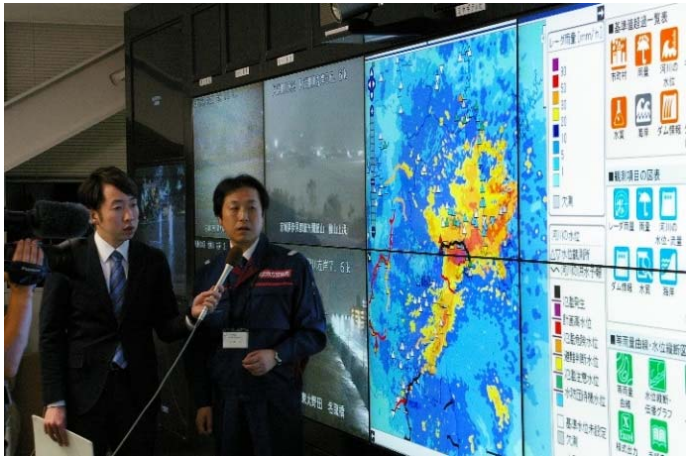
国土交通省

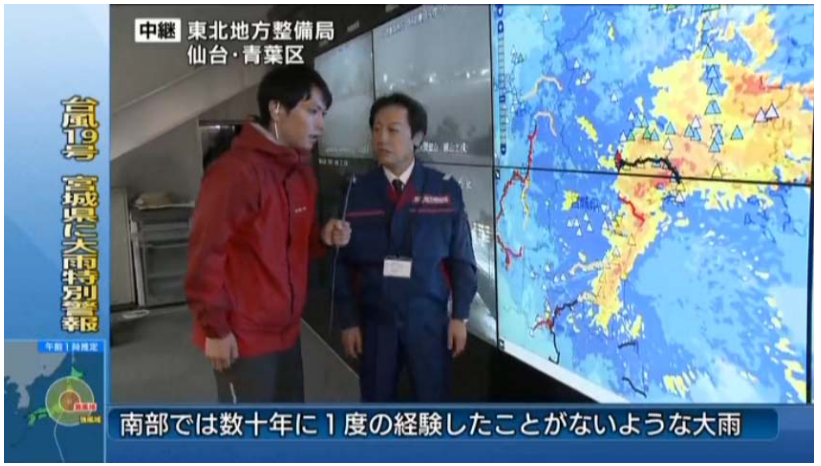
国交省職員による専門家解説

- 最新の河川の状況について、生中継による解説を実施。
- 河川管理者の立場から、河川の映像や雨量レーダー等を用いて、現在の降雨状況や河川水位の状況、自治体の情報等に注意し早期の避難行動が必要である旨を解説。

テレビ局	報道回数
東北放送	4回
NHK	7回
ミヤギテレビ	2回

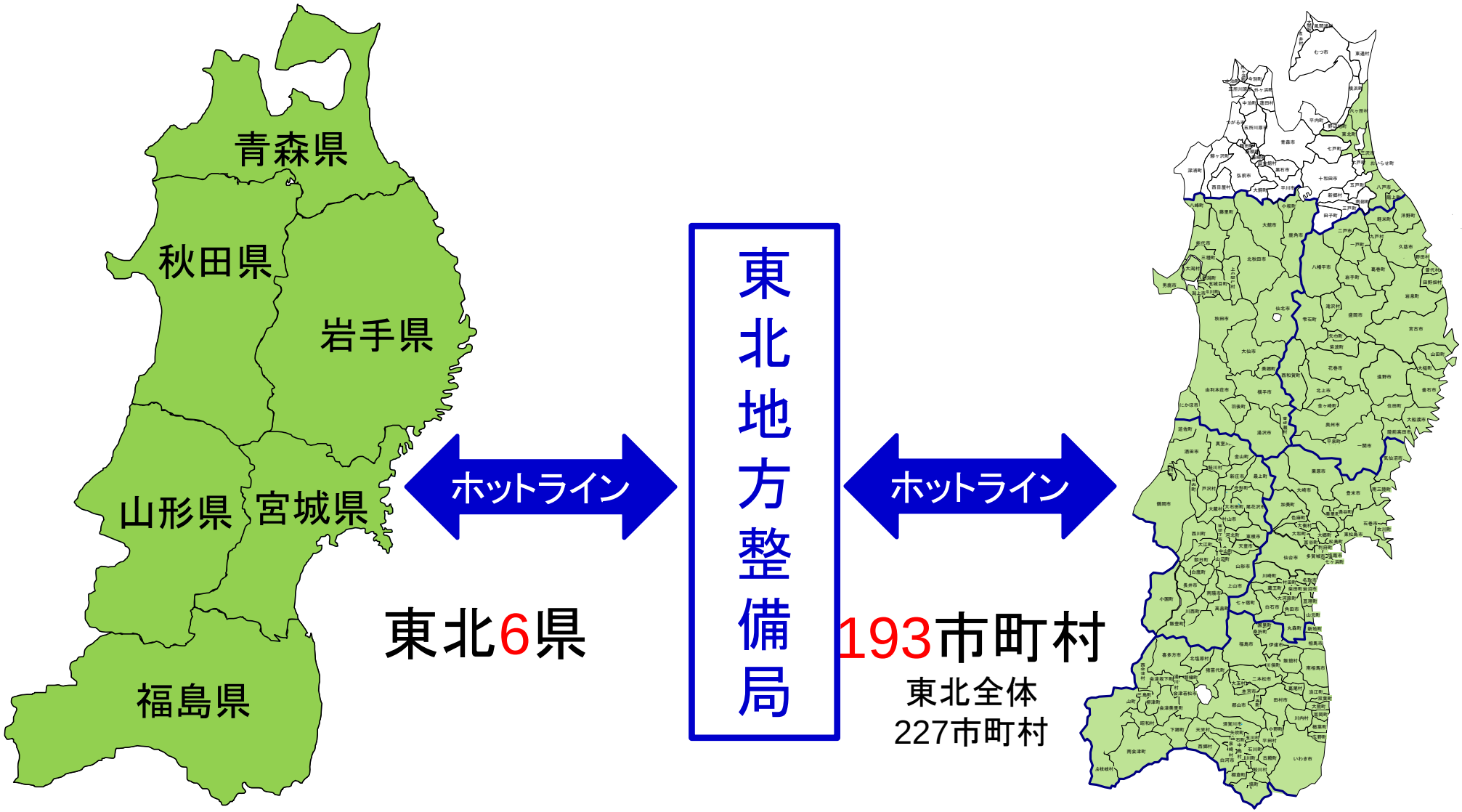
※インターネット中継含む





ホットライン

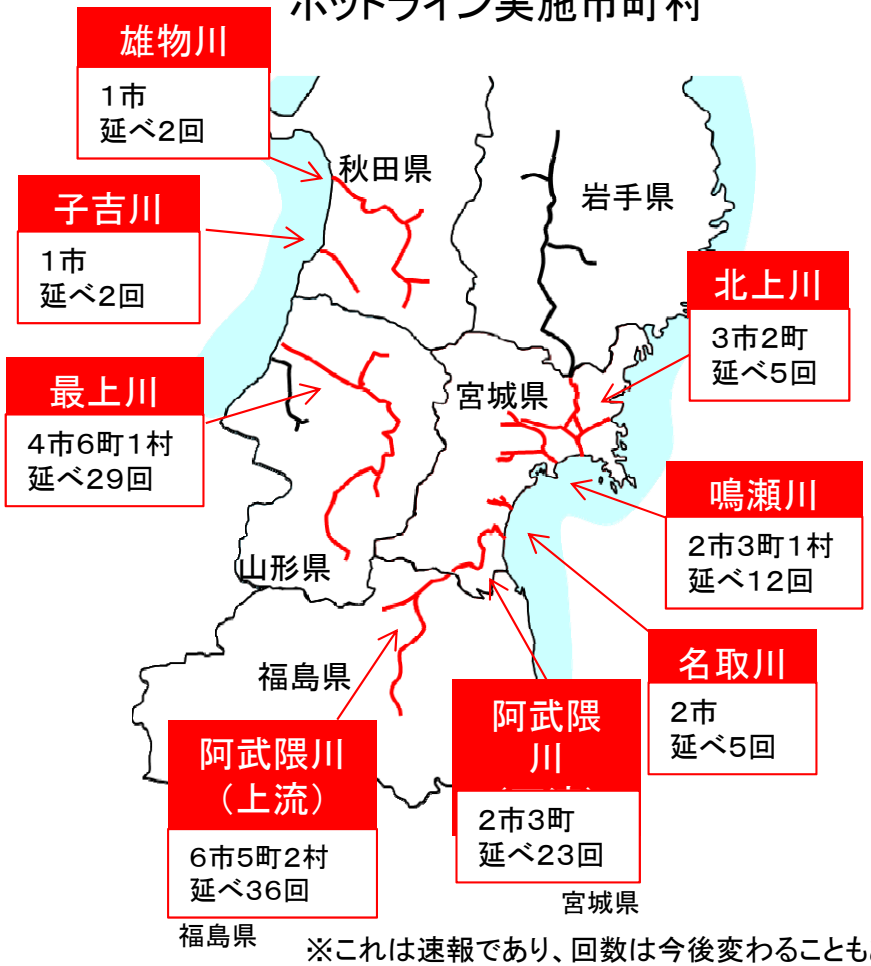
■　台風第19号の予想進路等の気象庁情報を参考に、被害が予想される東北6県及び193市町村に対し、ホットラインを構築。



自治体への洪水ホットライン

■ 東北の国が管理している12水系のうち、今回の出水で特に水位上昇が大きかった8水系において、整備局長及び河川関係事務所長から関係市町村町等（21市19町4村）に対し、ホットラインを延べ170回実施しました。

ホットライン実施市町村



水系名	実施回数	市町村名
鳴瀬川	9	大和町
	2	東松島市
	11	大郷町
	5	松島町
	3	大衡村
	3	富谷市
北上川	11	大崎市
	3	美里町
	2	涌谷町
	1	石巻市
	1	登米市
最上川	1	大江町
	1	戸沢村
	3	大石田町
	3	山形市
	3	米沢市
	3	長井市
	3	南陽市
	3	山辺町
	3	中山町
	3	高畠町
	3	川西町

水系名	実施回数	市町村名
名取川	4	名取市
	1	仙台市
阿武隈川（下流）	5	丸森町
	5	角田市
	6	柴田町
	3	岩沼市
	4	亘理町
阿武隈川（上流）	4	伊達市
	3	桑折町
	2	国見町
	1	石川町
	3	玉川村
	4	二本松市
	6	本宮市
	11	須賀川市
	10	福島市
	11	郡山市
	1	川俣町
	1	大玉村
	1	矢吹町
雄物川	2	横手市
子吉川	2	由利本荘市

合計	170回	21市19町4村

※これは速報であり、回数は今後変わることもあります。

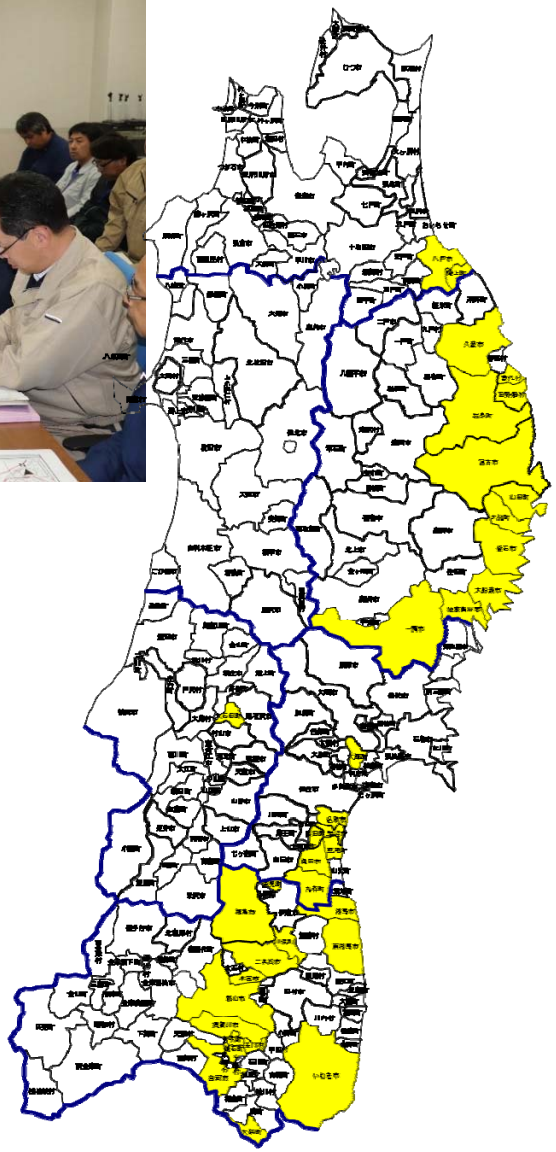
リエゾン（現地情報連絡員）

国土交通省

資料3-(2)

■ プッシュ型及び要請により、5県及び36市町村にリエゾン（現地連絡情報員）を派遣。（11月13日17:00時点）

被災状況を説明するリエゾン
（岩手県普代村）



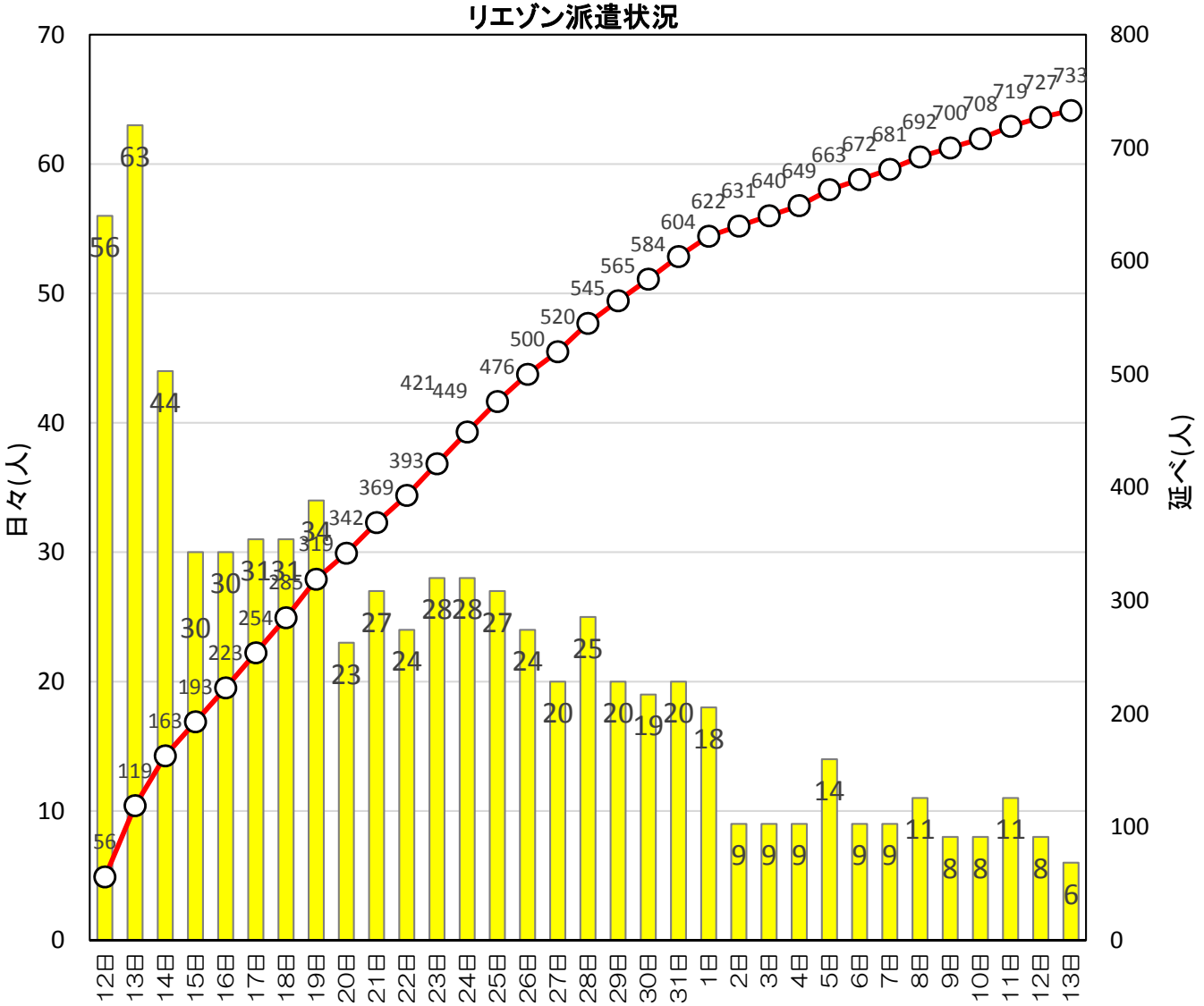
令和元年11月13日17:00現在

都道府県	自治体数	派遣先	延べ派遣人数
青森県	3	青森県、八戸市、階上町	12人
岩手県	12	岩手県、宮古市、普代村、岩泉町、久慈市、陸前高田市、大船渡市、山田町、大槌町、一関市、釜石市、田野畑村	148人
宮城県	8	宮城県、丸森町、角田市、大郷町、岩沼市、柴田町、亘理町、名取市	190人
山形県	2	山形県、大石田町	5人
福島県	16	福島県、郡山市、川俣村、須賀川市、玉川村、本宮市、相馬市、鏡石町、矢吹町、矢祭町、福島市、南相馬市、いわき市、二本松市、国見町、白河市	378人
合計	41	5県 19市 13町 4村	733人

自治体の支援状況(リエゾン(災害対策現地情報連絡員)の派遣)

国土交通省

- 5県36市町村に延べ733人を派遣(11月13日現在)。
- 初動の10月13日にピークとなる63人を派遣し、自治体ニーズの把握と迅速な対応を実施。
- 主な要請内容は、インフラ関係の技術的支援、復旧支援、排水支援。



10/15　災害対策本部出席(福島県相馬市)

10/16　災害対策本部出席(宮城県庁)

自治体支援（物資等要請対応）

国土交通省

■　ホットラインやリエゾン経由での市町村からの物資等の支援要請に対し迅速に対応。

日時	要請内容
10/13	手こぎボート
10/15	土のう袋（数量10，000袋）
10/16	「カラーコーン150個」「コーンバー75個」 「ブルーシート（厚手）100枚」 「バリケード100個」 「トンパック（土のう用）200袋」、「トンパック（UV対応）300袋」
10/16	土のう袋5000袋（土が入っているもの。不可能なら袋だけでも）
10/17	ブルーシート100枚
10/17	土のう袋10,000袋
10/17	仮設トイレ　17基
10/17	麻袋（規格68cm×90cm）30，000枚 ※ヘドロ処理、住民配布用
10/18	土嚢3，000袋（大波2000袋、飯野1000袋）
10/20	トンパック（土のう用）1,000袋 消石灰（10kg入り）1,000袋

協定を締結している関係団体の協力を得て、迅速に支援

相馬市へ飲料水を支援

郡山市へ土のうを支援

「被災者の生活と生業の再建に向けた対策パッケージ」対応について

国土交通省

■ 11月7日政府が「被災者の生活と生業の再建に向けた対策パッケージ」をとりまとめ、公表。
■ 東北地方整備局では「事務所巡回リエゾン」が市町村の防災担当部局と面談のうえ、国土交通省所管の取り組みを説明しニーズ確認等を行うとともに、政府全体の取り組み内容についても紹介。
■ 災害救助法適用市町村のうち、岩手県、宮城県、福島県の81市町村を対象に実施。

被災者の生活と生業（なりわい）の再建に向けた対策パッケージ

【国土交通省の取り組み】
- 廃棄物・土砂の撤去
- 住宅の再建
- 観光需要喚起に向けた対策
- 公共土木施設等の災害応急復旧等
- 地域住民の交通手段の確保

【政府全体の主な取り組み内容】

令和元年11月7日
台風第19号等
被災者生活支援チーム

1．基本方針

・台風第15号及び第19号をはじめとした一連の豪雨・暴風を受けて、被災者のニーズや地域ごとの特性を踏まえつつ、被災者の生活・生業の再建に向け、緊急に対応すべき施策をとりまとめ、予備費等の措置を講じていく。今後も、被災者の安心感を確保し、被災自治体が安心して復旧・復興に取り組めるよう、切れ目なく、財政措置等を講じていく。
・被災自治体等とともに、被災者目線に立ち、一日も早い被災地の応急復旧、生活の再建、生業の再建等に全力を尽くしていく。

2　緊急対策（主なもの）

①生活の再建
②生業の再建
③災害応急復旧
④災害救助等

東北地方整備局「事務所巡回リエゾン」

パッケージ紹介
ニーズ確認

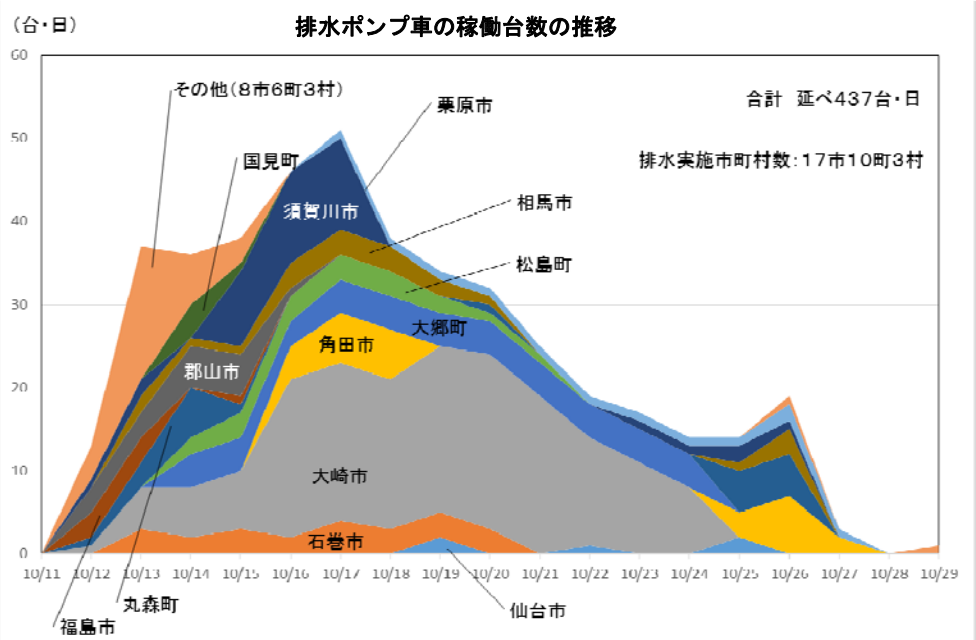
支援要請
問合せ等

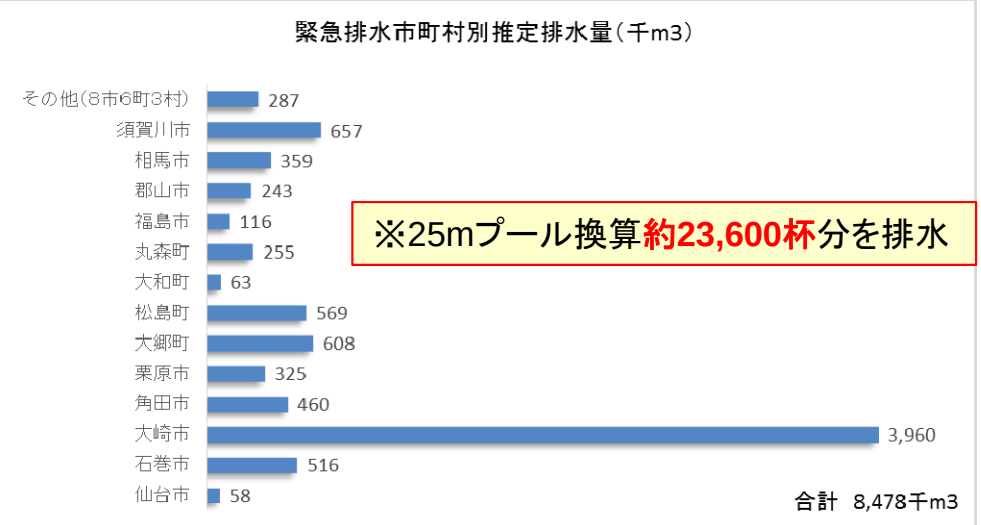
対象市町村81

岩手県6	宮城県34		福島県41		
宮古市	塩竈市	亘理町	福島市	葛尾村	塙町
久慈市	気仙沼市	山元町	二本松市	新地町	鮫川村
釜石市	白石市	七ヶ浜町	伊達市	飯舘村	石川町
山田町	名取市	利府町	本宮市	田村市	玉川村
田野畑村	角田市	大和町	桑折町	三春町	平田村
普代村	多賀城市	大衡村	国見町	小野町	浅川町
	岩沼市	色麻町	川俣町	郡山市	古殿町
	栗原市	加美町	大玉村	白河市	
	大崎市	南三陸町	いわき市	須賀川市	
	富谷市	石巻市	相馬市	鏡石町	
	蔵王町	登米市	南相馬市	天栄村	
	七ヶ宿町	東松島市	広野町	西郷村	
	大河原町	松島町	楢葉町	泉崎村	
	村田町	大郷町	富岡町	中島村	
	柴田町	涌谷町	川内村	矢吹町	
	川崎町	美里町	大熊町	棚倉町	
	丸森町	女川町	浪江町	矢祭町	

排水ポンプ車の作業状況

■ 浸水箇所の排水作業は、17市10町3村に延べ437台・日（実稼働）の排水ポンプ車を派遣し、8,478千m3（推定）の排水を実施。
■ 排水量が最も多かった吉田川（大崎市、松島町、大郷町）では2週間に渡る排水作業となった。





※25mプール換算約23,600杯分を排水

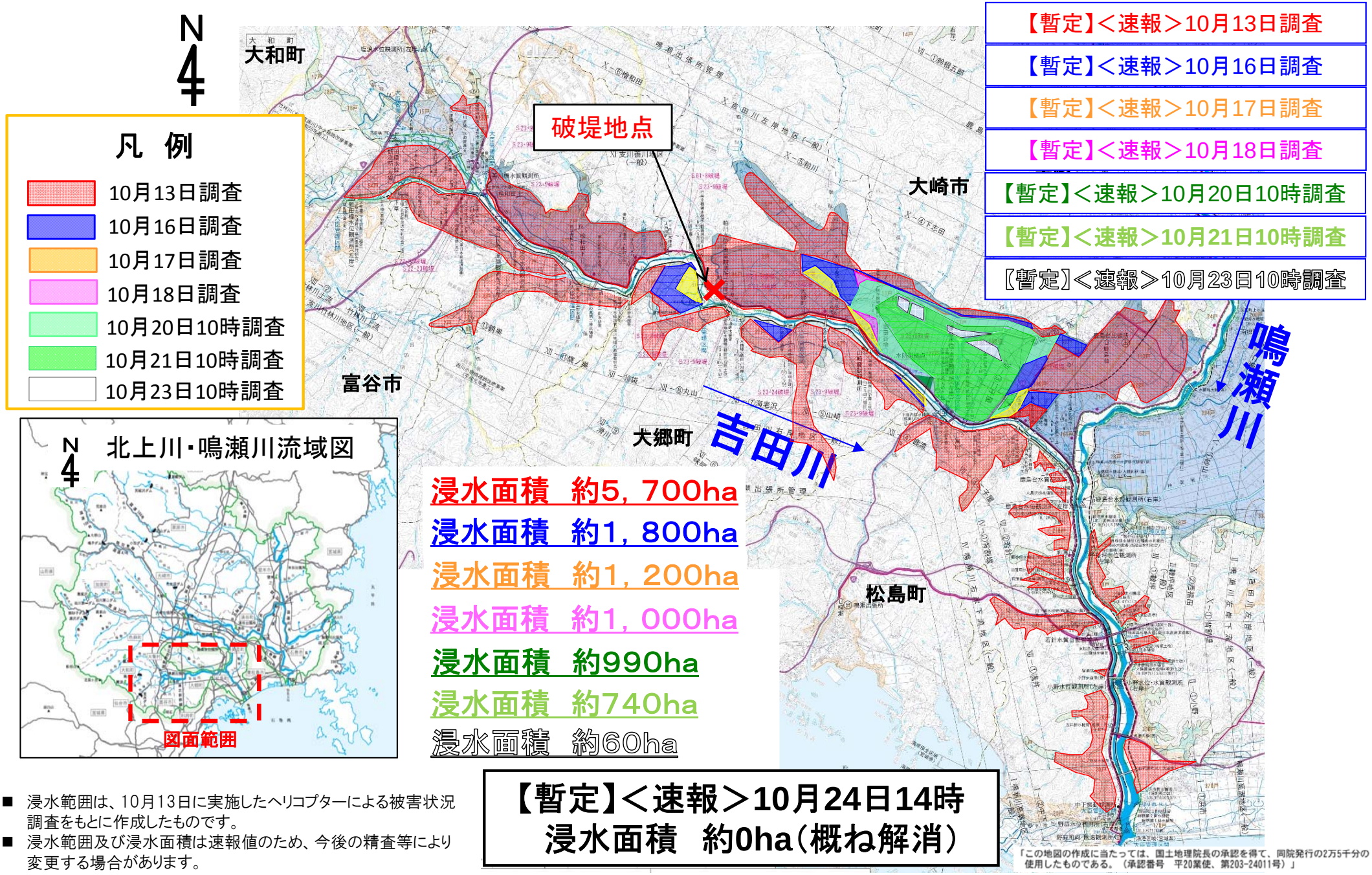
吉田川における排水作業状況

郡山市内の浸水箇所における排水作業状況

台風19号による河川（鳴瀬川水系吉田川（一部、鳴瀬川含む））の被災状況

国土交通省

10月24日作成



- 浸水範囲は、10月13日に実施したヘリコプターによる被害状況調査をもとに作成したものです。
- 浸水範囲及び浸水面積は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

台風19号による河川（阿武隈川水系阿武隈川下流（宮城県））の被災状況

国土交通省

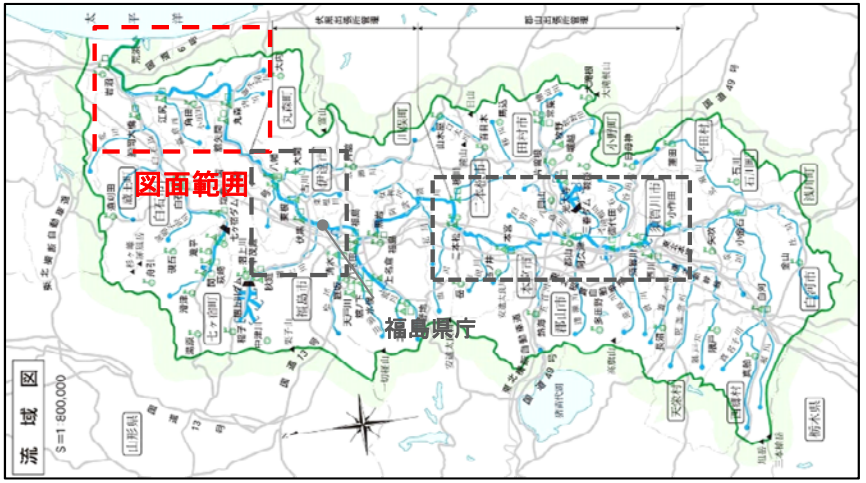
10月18日作成

浸水面積　約9，200ha　【暫定】＜速報＞10月13日調査

浸水面積　約5，300ha　【暫定】＜速報＞10月16日調査

浸水面積　約970ha　【暫定】＜速報＞10月17日調査

【暫定】＜速報＞10月18日早朝　浸水面積　約0ha（概ね解消）



凡　例

- 10月13日調査
- 10月16日調査
- 10月17日調査

亘理町

岩沼市

阿武隈川

柴田町

角田市

丸森町

至　福島県

■ 浸水範囲は、10月13日に実施したヘリコプターによる被害状況調査をもとに作成したものです。

■ 浸水範囲及び浸水面積は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。（承認番号　平26情使、第202-GISMAP

台風19号による河川（阿武隈川水系阿武隈川上流（福島県））の被災状況（1/2）

国土交通省

10月16日作成

浸水面積　約600ha

浸水面積　概ね解消

【暫定】＜速報＞10月16日調査

凡　例

- 10月13日調査
- 10月16日調査

- 浸水範囲は、10月13日に実施したヘリコプターによる被害状況調査をもとに作成したものです。
- 浸水範囲及び浸水面積は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

）地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の１地形図を使用した。（承認番号　平26情使、第202-61SMAP34139号）

台風19号による河川（阿武隈川水系阿武隈川上流（福島県））の被災状況（2/2）

国土交通省

10月16日作成

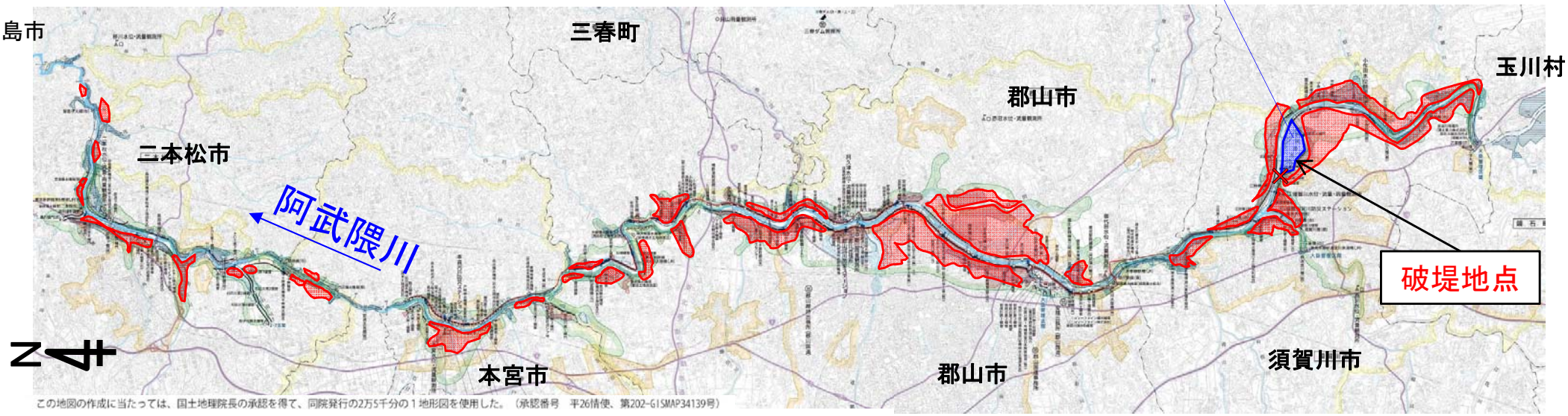
浸水面積　約2，800ha

浸水面積　概ね解消

【暫定】＜速報＞10月13日調査

【暫定】＜速報＞10月16日調査

※浜尾遊水地



凡　例

10月13日調査

10月16日調査

- 浸水範囲は、10月13日に実施したヘリコプターによる被害状況調査をもとに作成したものです。
- 浸水範囲及び浸水面積は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

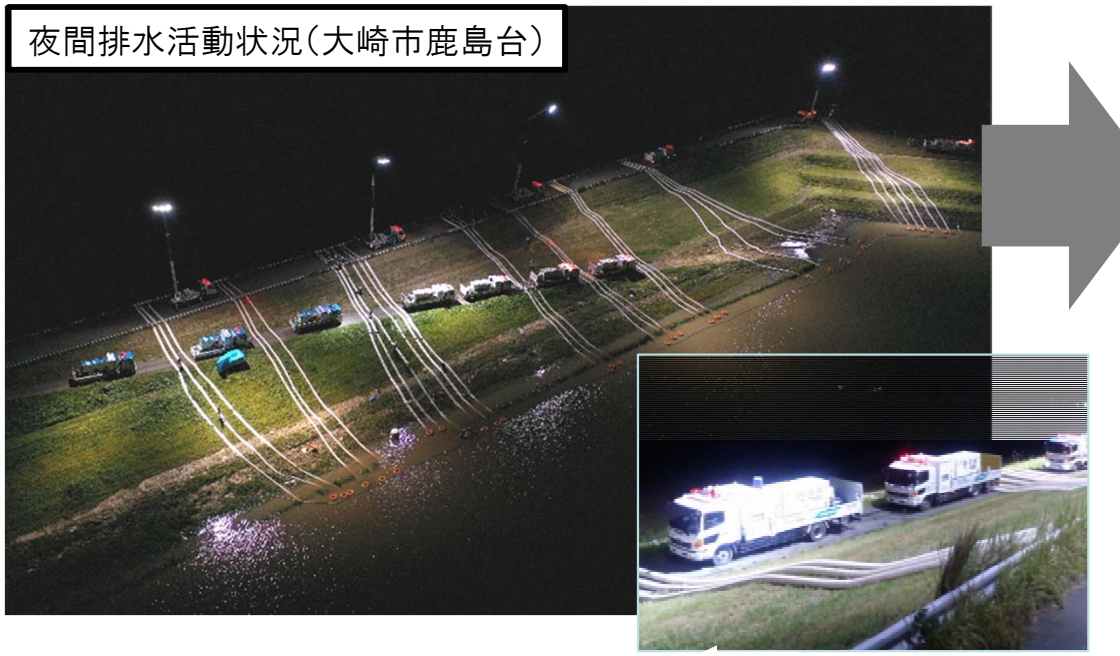
排水ポンプ車による排水活動（吉田川）について

■ 排水活動：東北地整、中部地整、中国地整

国土交通省

■ 夜間作業に限られていた排水ポンプ車による排水活動を、約100mのブリッジを敷設することにより、24時間体制の増強（10/19）を図りました。

■ 家屋浸水の早期解消を目指し、24時間体制で排水活動を実施



■ ブリッジ　19日9時完了（施工延長100m、8台対応）

排水ポンプ車による排水活動（宮城県丸森町）

国土交通省

■　宮城県丸森町に排水ポンプ車を現地に派遣し、排水作業を実施。

１０月１３日　排水ポンプ車排水状況

１０月１４日　排水ポンプ車排水状況

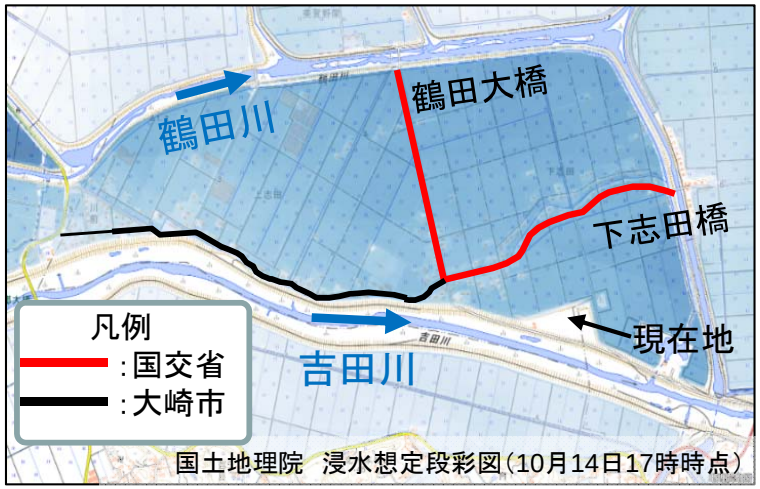
台風第19号　吉田川浸水箇所における道路啓開

国土交通省

資料3-(4)

■大崎市の支援要請に基づき、専門チームを立ち上げ、浸水が解消した生活道路の啓開を実施。
■平成30年7月豪雨の際に、岡山県倉敷市真備町で道路啓開を対応した「中国地方整備局TEC-FORCE」からの支援を受け、関係機関と調整を行い、早期に道路交通を確保。

道路啓開 土砂等撤去実施箇所



国土地理院　浸水想定段彩図(10月14日17時時点)

大崎市と作業箇所の確認

啓開前の主要な道路の状況

中国地整TEC-FORCEからの技術的支援

道路啓開作業状況

道路啓開・清掃完了状況(10月24日)

この資料の地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 令1 東複、第

台風第19号　吉田川浸水箇所における道路啓開

国土交通省

■浸水箇所における道路啓開は、１０月２６日までに完了し、大崎市長に対して対応状況を報告。
■道路啓開の進捗とともに、地元の方々やボランティアなどによる生活再建に向けた復旧作業も加速。

大崎市長への対応状況の報告（10月26日）

地域住民による稲わらの清掃活動

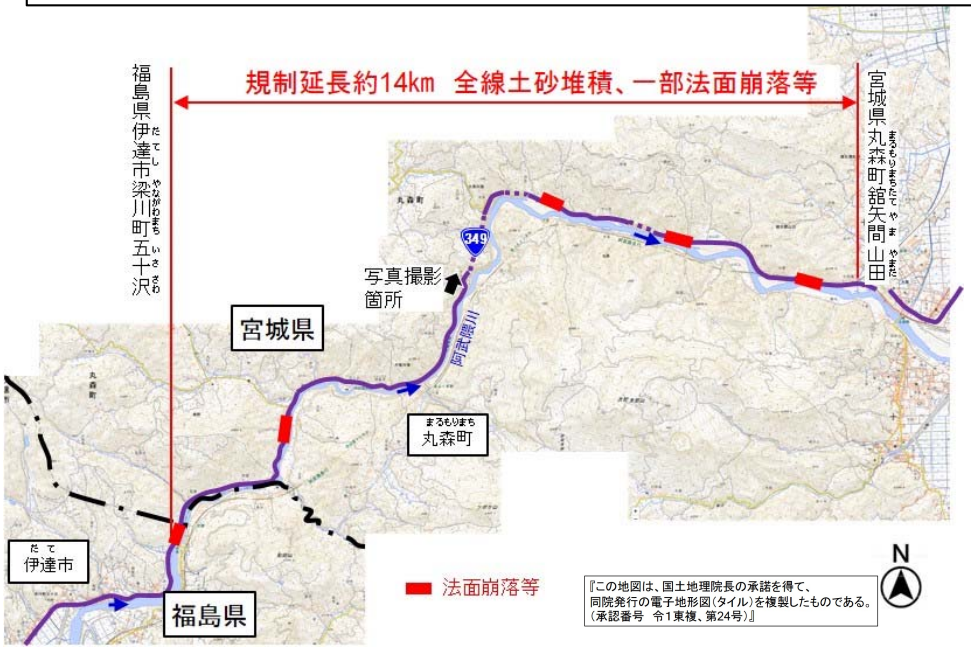
大崎市長からのお礼
（排水支援チーム、北海道・中部・中国TEC-FORCE）

ボランティアによる作業の状況

（宮城県丸森町（まるもりまち）2）国道349号　道路啓開の状況

国土交通省

〇宮城県が管理する国道349号の道路啓開を実施
〇道路法第48条の19に基づく道路啓開は、重要物流道路制度創設後全国初の実施



災害対策用通信設備による自治体への支援状況

■ 丸森町役場周辺は大規模な浸水となり、固定電話や携帯電話が使用できなくなったため、衛星携帯電話を配備し、ホットラインを確立
■ 災害時においても影響を受けない衛星通信設備(衛星通信車、Ku-SAT)やi-RAS(※)を使用し、迅速に被災現場の映像を収集し、自治体へ配信

(※)i-RAS:5GHz帯無線アクセスシステム

丸森町役場に衛星携帯電話を配備し、ホットラインを確立(町長)

丸森町役場周辺の浸水状況
(2019年10月14日11時)

衛星通信車を配備し映像を配信(丸森町)

i-RASによる映像伝送(玉川村)

Ku-SATによる映像伝送(鏡石町)

被災映像提供等支援自治体一覧

県名	自治体	通信回線
宮城県	宮城県庁	自営光ネットワーク
	丸森町	衛星通信車 衛星携帯電話 自営光ネットワーク
福島県	福島県庁	自営光回線
	福島市	自営光ネットワーク
	郡山市	自営光ネットワーク
	須賀川市	民間通信事業者回線
	伊達市	自営光ネットワーク
	本宮市	自営光ネットワーク
	二本松市	自営光ネットワーク
	国見町	民間通信事業者回線
	鏡石町	衛星通信車 民間通信事業者VPN (臨時)
	矢吹町	衛星通信車 民間通信事業者VPN (臨時)
	玉川村	民間通信事業者回線

自治体の支援状況（TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊））

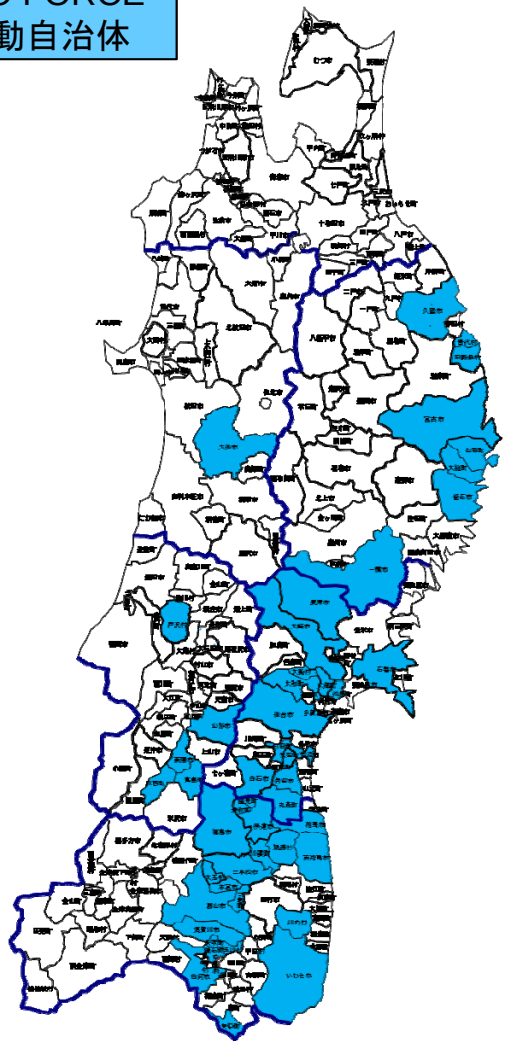
国土交通省

資料4-（1）-①

■ 東北地方整備局のほか全国の地方整備局等からTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の広域派遣を受け、被災状況調査、排水活動、道路清掃活動等、自治体への技術支援等を実施。

■ TEC-FORCE隊員は延べ1,250班4,415人を派遣（ピーク時は74班259人（10/23））

TEC-FORCE
活動自治体



※ 被災状況調査班、高度技術指導班、応急対策班（排水、路面清掃、給水）の活動を含んでいる

県名	市町村名（49市町村）
岩手県	宮古市、久慈市、釜石市、一関市、大槌町、山田町、田野畑村、普代村
宮城県	仙台市、角田市、岩沼市、大崎市、石巻市、栗原市、白石市、丸森町、村田町、柴田町、大郷町、大和町、松島町、大衡村
福島県	福島市、郡山市、須賀川市、二本松市、伊達市、本宮市、相馬市、南相馬市、白河市、いわき市、桑折町、川俣町、矢吹町、三春町、鏡石町、矢祭町、国見町、大玉村、飯舘村、川内村、玉川村
秋田県	大仙市
山形県	山形市、南陽市、高畠町、川西町、戸沢村

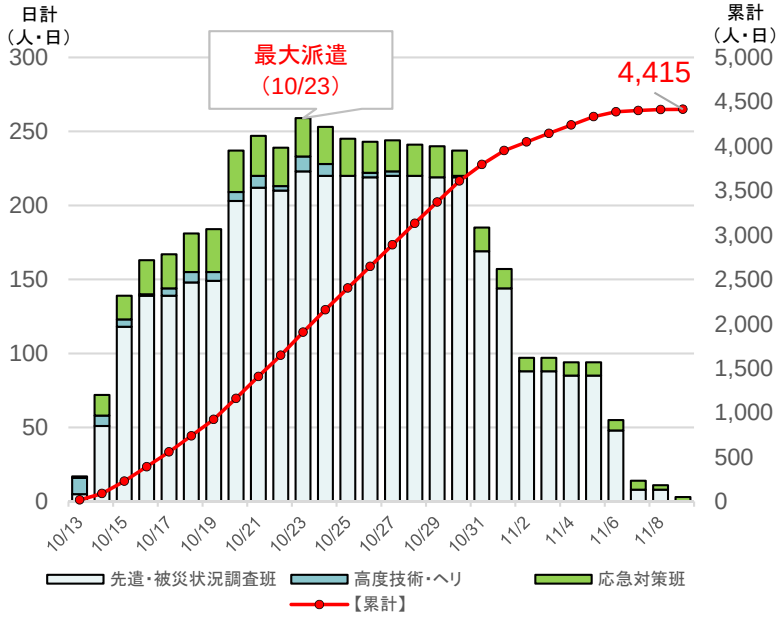
▲TEC-FORCEによる被災状況調査
（福島県相馬市）

▲吉田川における排水状況（宮城県大崎市）

■TEC-FORCE派遣状況（11/9時点）

延べ1,250班4,415人・日

地整等	延べ派遣隊員数		派遣期間
北海道開発局	344班	1,339人・日	（10/13～11/9）
中部地整	343班	1,166人・日	（10/14～11/8）
近畿地整	205班	776人・日	（10/20～11/8）
中国地整	61班	153人・日	（10/14～11/6）
四国地整	40班	158人・日	（10/23～11/1）
沖縄総合	30班	100人・日	（10/21～10/30）
東北地整	227班	723人・日	（10/13～11/6）



※移動等を含む実稼働人数を集計

TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）による活動状況

国土交通省

▲防災ヘリみちのく号による被災状況調査

▲24時間体制での排水作業（宮城県大崎市,吉田川）

▲路面清掃車による路面清掃作業（福島県相馬市）

▲給水車による給水支援（宮城県丸森町）

▲TEC-FORCEによる被災状況調査
（福島県矢吹町）

▲ドローンを用いた被災状況調査
（宮城県丸森町）

丸森町　TEC-FORCE現地司令部

国土交通省

■甚大な被害を受けた丸森町の、TEC-FORCEによる公共土木施設の被災調査を促進するため、現地司令部を10月16日に設置。

災対本部車・衛星通信車の配備

現場状況確認（災対本部車）

TEC-FORCE打合せ

建設課打合せ

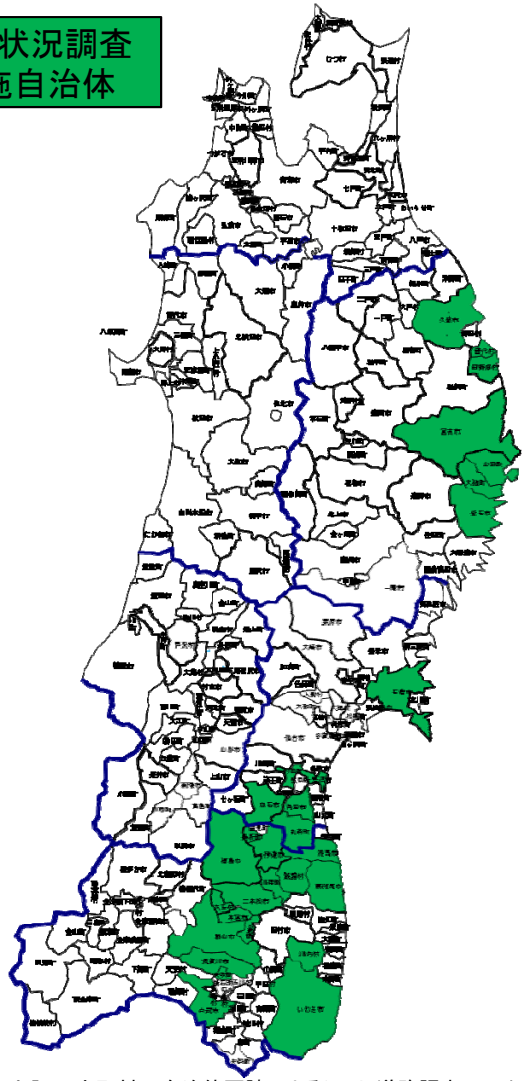
TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）による被災状況調査

国土交通省

資料4-（1）-②

■ 被災状況調査については、2県、26市町村からの要請を受け、河川、砂防、道路、港湾等、約2,200箇所の調査を実施。
■ 11月5日までに、全ての被災状況調査が完了し、市町村長等へ調査結果を報告。

被災状況調査実施自治体



■被災状況調査の要請があった26市町村

県名	市町村名	被災状況調査完了日	自治体への報告完了日
岩手県（3市2町2村）	宮古市	10月28日	10月29日
	久慈市	10月21日	10月22日
	釜石市	10月18日	10月19日
	大槌町	10月22日	10月23日
	田野畑村	10月23日	10月24日
	山田町	10月20日	10月21日
	普代村	10月23日	10月24日
宮城県（2市3町）	角田市	10月28日	10月29日
	岩沼市	10月20日	10月21日
	丸森町	11月2日	11月3日
	村田町	10月19日	10月20日
	大郷町	10月27日	10月28日
福島県（9市4町1村）	福島市	10月24日	10月25日
	郡山市	10月28日	10月29日
	須賀川市	10月18日	10月19日
	二本松市	10月24日	10月25日
	伊達市	10月29日	10月30日
	本宮市	10月18日	10月19日
	相馬市	11月2日	11月3日
	南相馬市	11月4日	11月5日
	白河市	10月22日	10月23日
	桑折町	10月17日	10月18日
	川俣町	10月19日	10月20日
	矢吹町	10月24日	10月25日
	三春町	10月20日	10月21日
	大玉村	10月17日	10月18日

※ 上記26市町村の自治体要請による河川・道路調査のほか、2県（宮城県、福島県）からの要請により、宮城県丸森町、福島県伊達市、相馬市、飯舘村、川内村、いわき市で砂防調査、石巻市で港湾の調査を実施している。

▲甚大な被害が生じた丸森町に現地司令部を設置し、関係機関と調整を行いながら早期に被災状況を把握

▲自治体へ被災状況調査を報告（宮城県丸森町）

TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）による被災状況調査

国土交通省

▲宮城県丸森町における被災調査状況（河川）

▲福島県相馬市における被災調査状況（道路）

▲福島県南相馬市における地元住民からの聞き込み

▲宮城県大崎市での道路啓開に関わる確認・指導状況

▲福島県いわき市における被災調査状況（砂防）

▲福島県伊達市における被災状況調査　（河川）

TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）による港湾関係被災状況調査

国土交通省

○港湾の利用に大きな影響を与える被害はなし。

・重要港湾における**主な被災は宮古港竜神崎防波堤のケーソンの滑動等。**そのほか、八戸港、久慈港、仙台塩釜港、相馬港、小名浜港でも流木や軽微な破損を確認。

・地方港湾では、宮城県の金華山（きんかさん）港で防波堤が被災。**塩釜港湾・空港整備事務所のTEC-FORCEが調査**。そのほか、女川（おながわ）港、御崎（おさき）港で、施設の軽微な破損が発生。

宮古港竜神崎防波堤ケーソン滑動箇所

竜神崎防波堤

女川港高白木地区に土砂流入

金華山港で防波堤のパラペットが飛散

国土交通省
（TEC-FORCE）
による
現地調査

TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）による土砂災害危険箇所調査

国土交通省

令和元年台風第19号に伴う豪雨で、福島県からの要請を受け、いわき市、相馬市、伊達市、川内村及び飯館村の3市2村において、延べ220名のテックフォース隊員により約400箇所の土砂災害危険箇所について、現地踏査による調査を実施。

調査箇所・内容打合せ状況（福島県庁）

現地踏査による調査状況（福島県いわき市）

現地踏査による調査状況（福島県相馬市）

調査結果の報告（福島県相双建設事務所）

南相馬市（福島県）へTEC-FORCE調査結果報告（11月5日）

国土交通省

TEC-FORCE※により、福島県南相馬市の公共土木施設等の被害調査を10月26日から実施し、11月5日 門馬 和夫 市長に調査結果を報告しました。

■調査期間：10月26日～11月4日
■調査機関：TEC-FORCE中部地方整備局（28名）
近畿地方整備局（20名）東北地方整備局（4名）
■調査箇所数：計150カ所
・河川関係調査：115カ所
・道路関係調査：　35カ所

被災状況調査状況（南相馬市鹿島区栃窪）

調査報告書　手交式

南相馬市への被災状況報告

※Tec-Force(Technical Emergency Control Force)緊急災害対策派遣隊
被災した自治体が管理する河川や道路の被災状況を短期間で調査を行い、報告します。
隊員は、河川や道路の調査計画や現場業務で培った専門技術を有する国土交通省の職員です。

土砂災害専門家（TEC－FORCE高度技術指導班）による現地調査（宮城県）

国土交通省

資料4-（1）-③

令和元年台風第19号に伴う豪雨で、宮城県伊具郡丸森町で発生した土砂崩れに関して、宮城県からの要請を受け、土砂災害専門家（国土交通省国土技術政策総合研究所）がヘリによる上空からの調査と現地踏査による調査を実施した。

今回の土砂災害の現象や警戒避難の考え方、今後の調査・対策に関して丸森町（10/18）、宮城県（10/19）へ技術的助言を行った。

ヘリからの調査

現地踏査による調査

丸森町への報告

宮城県への報告

TEC－FORCE高度技術指導班による現地調査（宮城県）

国土交通省

令和元年台風第19号に伴う豪雨で、宮城県伊具郡丸森町内の主要地方道　丸森霊山線の被災箇所に関して、宮城県からの要請を受け、国土交通省国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人土木研究所が、現地踏査による調査を実施した。

今回の被災の現象や復旧方法等について、宮城県（10/24）へ技術的助言を行った。

法面崩落箇所の状況確認

河床洗掘による道路崩落箇所の状況確認

道路流失箇所の状況確認

国総研・土研による復旧についての宮城県へ助言指導（丸森町役場内）

TEC－FORCE高度技術指導班による現地調査（福島県矢祭町）

国土交通省

■福島県矢祭町長からの支援要請を受け、流出した橋梁の被害調査を行い、調査結果を報告、応急復旧方法について技術的助言を実施した。

▲流失した高地原橋の被害状況

▲橋台の損傷状況調査

▲対岸までの距離計測

▲矢祭町長への説明（矢祭町役場）

▲矢祭町長への説明（現地）

全国から集結した災害対策用機械

- 全国の地方整備局等から排水ポンプ車等の広域派遣機械105台が集結
- 東北地整配備の機械と合わせ延べ1,571台・日(実稼働台数)が出動し、様々な復旧活動を支援
- 北海道から派遣された給水機能付散水車による避難所等での給水支援も実施された

台風19号による被災対応の災害対策用機械台数

(台)

機械名	東北地整	応援地整等				計
		北海道開発局	中部地整	近畿地整	中国地整	
排水ポンプ車	43	15	20		10	88
照明車	19		11		6	36
対策本部車	5					5
待機支援車	3					3
衛星通信車	4					4
土のう造成機	1					1
路面清掃車	5	20				25
散水車	7	10		5		22
散水車(給水)		5				5
側溝清掃車		3				3
合計	87	53	31	5	16	192
		105				

鹿島台に集結した広域派遣機械

東北技術事務所に集結した清掃用車両

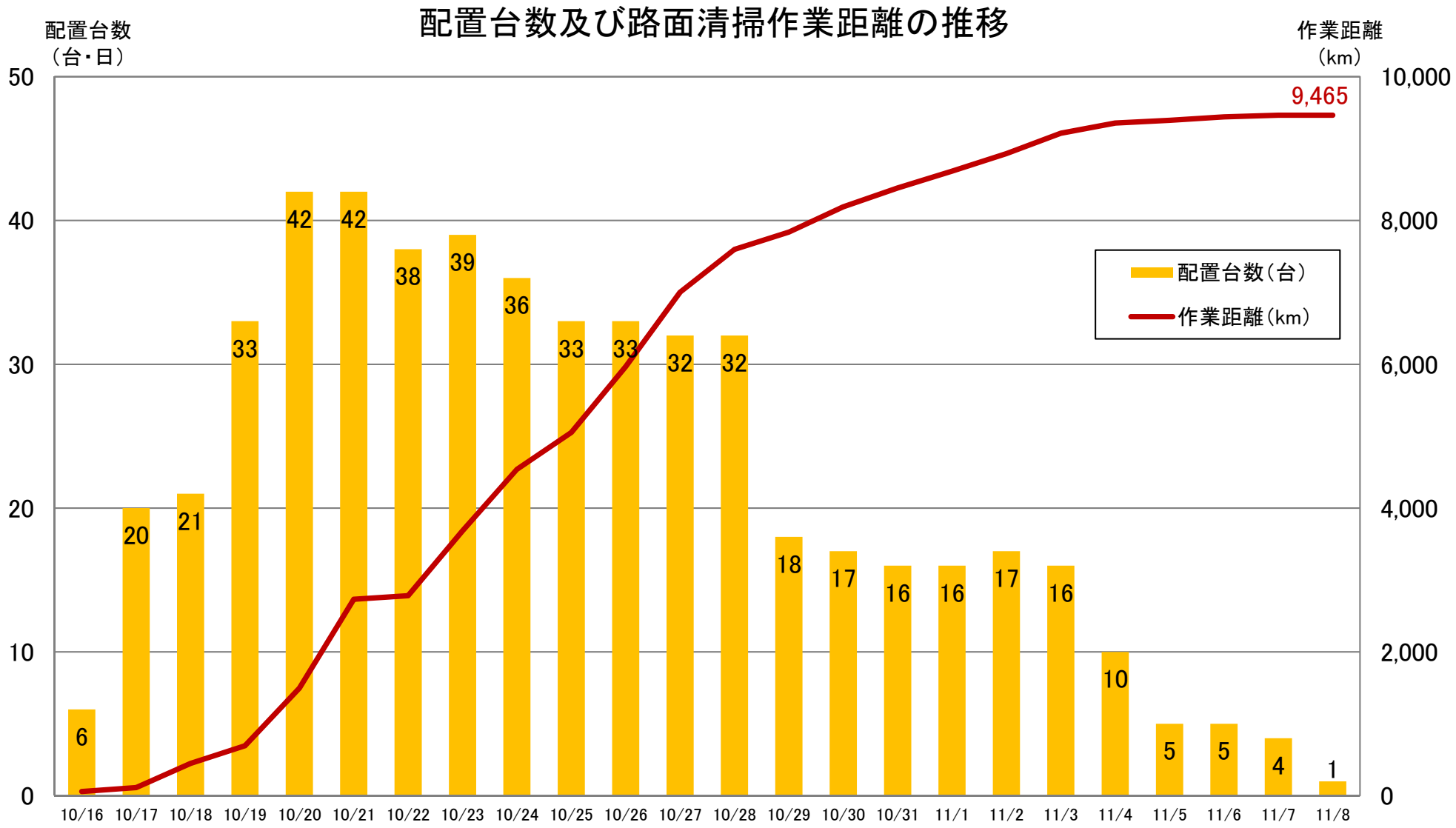
東北技術事務所に集結した排水ポンプ車・照明車

台風19号　被災地支援　路面清掃作業実施状況

国土交通省

資料4-(1)-⑤

■ 3県12市町村において、広域支援により、約9,500kmの路面清掃作業を実施



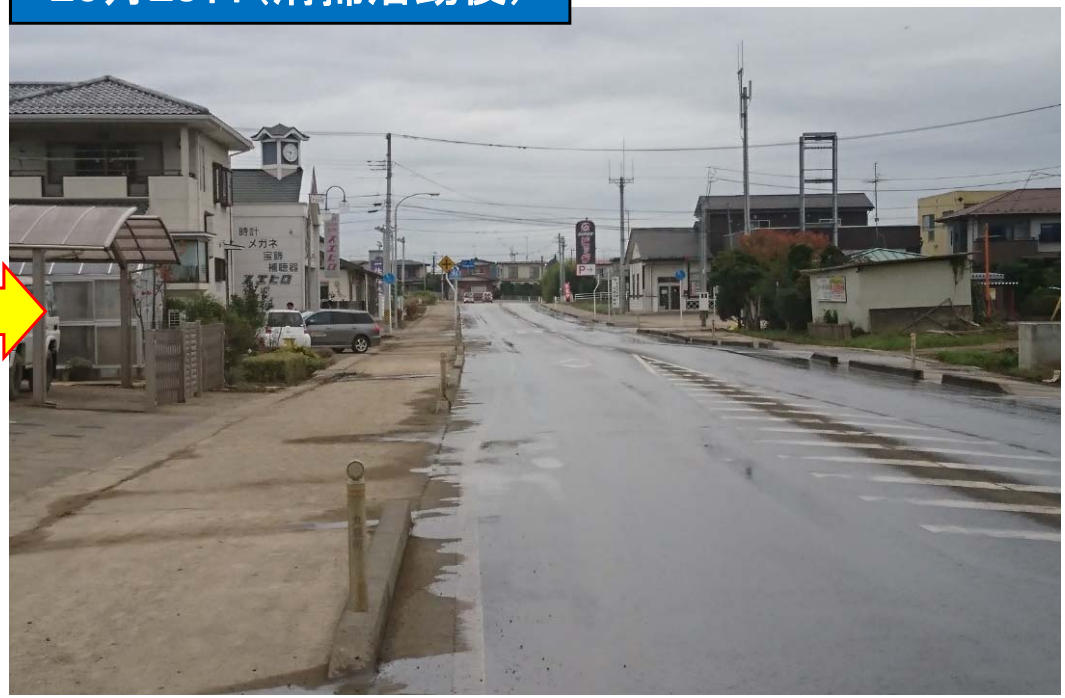
※路面清掃作業の実施市町村は下記の12市町村
　宮城県（丸森町、角田市、柴田町、大崎市、村田町）、福島県（郡山市、本宮市、相馬市、須賀川市、鏡石町、玉川村）、岩手県（普代村）
※岩手県久慈市は機械を貸与
※福島県桑折町、国見町、伊達市は日本道路清掃技術協会において路面清掃作業を実施
※作業距離（km）は路面清掃車の累計作業距離

台風19号　被災地支援（宮城県丸森町（まるもりまち））　道路清掃の状況

国土交通省

10月16日（被災直後）

10月29日（清掃活動後）



路面清掃車

散水車

自治体支援（被災状況、復旧状況映像配信）

国土交通省

資料4-（1）-⑥

■　県管理河川の被災状況や復旧状況の映像を、衛星通信回線等を使って町役場等へ配信し、避難等情報発信を支援。

鏡石町河原地区

被災状況

復旧工事状況

鏡石町東河原地区

被災状況

復旧工事状況

ドローン空撮のリアルタイム映像配信（丸森町五福谷川）

国土交通省

- 丸森町において、被災状況調査を効率的に実施するため、ドローンと衛星通信回線（Ku－SAT）を組合せ、ドローン空撮のリアルタイム映像配信を実施。
- 災害対策本部（東北地方整備局）、現地指令本部（丸森町）にて空撮状況を確認しながら、電話にて詳細指示を行い、確実かつ効率的な情報収集を実現。

ドローンと衛星通信回線によるリアルタイム映像配信の実施状況【丸森町五福谷川】

ドローン空撮の映像確認と電話による現場への詳細指示【災害対策本部（東北地方整備局）】

＜高精細ドローン動画の宮城県、丸森町等への提供＞

【下水道】丸森雨水ポンプ場復旧に係る自治体支援状況

◯10月23日、宮城県丸森町の要請に基づき下水道専門家2名を派遣。(本省下水道部、地整建政部)
◯施設の被災状況を確認し、丸森町長や担当者へ「丸森雨水ポンプ場」の施設復旧に向けた技術的助言を実施。

保科丸森町長へ被害状況や復旧へ向けた対応方針を助言

■丸森雨水ポンプ場の被災状況(丸森町字神明南地内)

下水道専門家による被害状況の確認

丸森雨水ポンプ場の浸水状況

ポンプ施設の被災状況(浸水痕跡)

堆積土砂排除事業に係る自治体支援及び現地調査状況

国土交通省

資料4-(2)

○10月16日、17日、18日に福島県（白河市、須賀川市）、宮城県（丸森町、大郷町、大崎市）、岩手県（久慈市）の堆積土砂の状況調査　及び技術的助言を実施

○他の自治体へも制度の周知及び調査等引き続き支援を実施予定

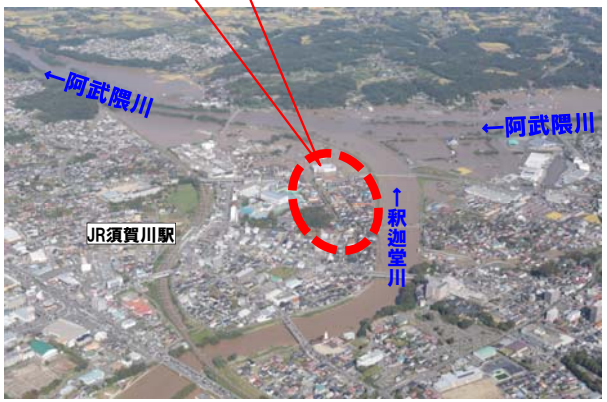
事業活用に向け国交省より事業制度を説明

制度概要

堆積土砂排除事業における補助率は1／2
地方の負担1／2における起債充当率は100%となっており、そのうち95%が交付税措置となっている。

※なお、過年分の起債充当率は90%となる。
また、国の補助割合は激甚災害の指定による嵩上げ有り。

宅地等への土砂堆積状況（須賀川市中宿（なかじゅく）地内）



浸水状況

土砂堆積状況

被災地支援における港湾の利用状況

国土交通省

資料4-(3)

○台風第19号に係る災害派遣のため、陸上自衛隊第2師団が人員約190名、車両約80両からなる支援部隊を編成し、函館港から青森港まで「ナッチャンWorld」で移動。10月14日(月)夜に青森港新中央埠頭へ上陸し、宮城県に向かった。10月16日には相馬港に自衛艦「えんしゅう」が入港し、給水活動を実施。

○10月17日　小名浜港の東港N1岸壁に海上自衛隊輸送艦「くにさき」が給水等被災地支援のため着岸。この岸壁は供用前のため、**当局が海上自衛隊横須賀地方総監部に使用承認をおこなった。**仙台塩釜港(仙台港区)には「ナッチャンWorld」が入港し、自衛隊員や緊急支援車両を輸送。

○10月18日には(独)海技教育機構所属「青雲丸」が小名浜港に入港、入浴等被災地支援を開始した。

○被災地支援のための支援物資や、支援要員輸送のため、宮古～室蘭航路、室蘭～八戸・宮古航路、青森～函館航路、仙台～苫小牧航路等のフェリーが活用された。

10月17日(木)小名浜港に着岸した自衛艦「くにさき」の給水活動

10月17日(木)仙台塩釜港に入港する「ナッチャンWorld」

「ナッチャンWorld」から下船する自衛隊車両

10月15日(火)室蘭港から宮古港に到着したフェリーで輸送された支援物資

10月14日(月)青森港に着岸した「ナッチャンWorld」自衛隊車両下船の様子

10月16日(水)相馬港に着岸した自衛艦「えんしゅう」からの給水活動

10月18日(金)小名浜港に支援活動のため着岸した「青雲丸」

災害廃棄物の仮置場及びリサイクルポートの活用状況（令和元年11月13日現在）

国土交通省

【位置図】

【災害廃棄物仮置場の調整状況】

●久慈港　諏訪下地区ふ頭用地

久慈市で発生した土砂・泥土の仮置場として久慈市建設部から岩手県県北広域振興局土木部に相談があり、港湾管理者（岩手県）が許可し、10月16日から土砂等の受入れを開始。

●仙台塩釜港石巻港区　雲雀野地区工業用地・ふ頭用地

石巻市、東松島市等で発生した稲わら等の１次仮置場の候補地として港湾管理者（宮城県）から県環境部局に提示。

●小名浜港　剣浜地区交流厚生用地

いわき市で発生したガレキ等の２次仮置場の候補地として港湾管理者（福島県）から県環境部局に提示。

【リサイクルポートの活用調整状況】

●リサイクルポートを活用した広域処理の実施に向けた調整

リサイクルポートを活用した災害廃棄物の広域処理を想定し、各港港湾管理者へ資料提供すると共に協力依頼を実施。

久慈港 災害廃棄物仮置場

石巻港区 災害廃棄物仮置場

小名浜港 災害廃棄物仮置場

災害復旧工事・業務を優先して実施するための措置について助言

国土交通省

資料4-(4)

■随意契約の活用や工事・業務の一時中止等、災害復旧工事や業務を優先して実施するための措置について、リエゾンやTEC-FORCEを通じて、市町村長や対策本部に対して助言を実施。

災害対策現地情報連絡員（リエゾン）
緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）　各位

令和元年１０月１７日
東北地方整備局　災害対策本部

派遣先の自治体首長・対策本部に対し、別添のとおり

「品確法改正により、緊急度の高い災害対応では、
随意契約や**見積もりの活用**が可能であるため、
積極的に活用いただきたい」

ことを適時、お知らせいただくようお願いします

災害対策現地情報連絡員（リエゾン）
緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）　各位

令和元年１０月１８日
東北地方整備局　災害対策本部

派遣先の自治体首長・対策本部に対し、別添のとおり

「既に契約を締結している工事や業務について、
災害対応を優先するために一時中止を行うことが
可能であるため、適宜検討いただきたい」

ことを適時、お知らせいただくようお願いします

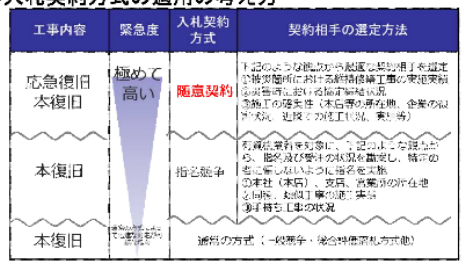
災害時の随意契約の活用等

国土交通省

○令和元年6月に公共工事品確法が改正・施行され、災害時の緊急度に応じた随意契約等の活用、予定価格の設定に当たっての見積もりの活用が法律上明記。
○災害後の復旧にあたり、早期かつ確実な施工が可能な者を短期間で選定し復旧作業に着手する必要があることから、着手までの期間、資材の調達力、人員確保などを総合的に評価し、透明性・公平性の確保に努めつつ、積極的に随意契約等を活用。

公共工事の品質確保の促進に関する法律（品確法）（令和元年6月7日改正、令和元年6月14日施行）
＜発注者等の責務＞　第７条　第１項
二　（略）災害により通常の積算の方法によっては適正な予定価格の算定が困難と認めるときその他必要があると認めるときは、入札に参加する者から当該入札に係る工事等の全部又は一部の見積書を提出することその他の方法により情報を行うことにより、適正な予定価格を定め、できる限り速やかに契約を締結するよう努めること。
三　災害時においては、手続の透明性及び公正性の確保に留意しつつ、災害応急対策又は緊急性が高い災害復旧に関する工事等にあっては随意契約を、その他の災害復旧に関する工事等にあっては指名競争入札を活用する等緊急性に応じた適切な入札及び契約の方法を選択するよう努めること。

○入札契約方式の適用の考え方



○災害復旧における入札契約方式の適用ガイドライン

迅速性が求められる災害復旧や復興において、随意契約や指名競争方式等の適用の考え方や手続きにあたっての留意点や工夫、過去の具体的な事例や様式等をまとめている。

（公表URL：http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_000434.html ）

○適用例

【業務】
・緊急点検、航空測量等の災害状況調査
・下記工事に関連する測量、調査及び設計業務　等

【工事】
・堤防等河川管理施設等の応急復旧
・道路啓開、がれき撤去
・段差解消のための舗装修繕、路面復旧
・孤立集落解消のための橋梁復旧　　等

○問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　企画部　技術管理課
課長　赤平　勝也　又は課長補佐　高橋　朋昭
Tel :022-261-4985（直通）
国土交通省　大臣官房　技術調査課
課長補佐　出口　桂輔　Tel :03-5253-8220（直通）

災害に伴う工事及び業務の一時中止措置について

国土交通省

○台風19号に伴い、工事や業務（工事等）を履行できない事態が発生。また、被災地域では当面、災害復旧対策を優先して行うことが必要。
○このため、契約書の規定に則り、工事等の一時中止措置を適切に行うとともに、工期や請負代金額等を適切に変更するものとする。また、工期等が翌年度にわたる場合は、繰越等の措置を適切に講ずるものとする。

○公共工事標準請負契約約款
第20条 …暴風、豪雨、洪水、…その他の自然的又は人為的な事象であって受注者の責めに帰すことができないものにより工事目的物等に損害を生じ若しくは工事現場の状態が変動したため、受注者が工事を施工できないと認められるときは、発注者は、工事の中止内容を直ちに受注者に通知して、工事の全部又は一部 の施工を一時中止させなければならない。
2 発注者は、前項の規定によるほか、必要があると認めるときは、…工事の全部又は一部の施工を一時中止させることができる。
3 発注者は、前2項の規定により工事の施工を一時中止させた場合において、必要があると認められるときは工期若しくは請負代金額を変更し、又は受注者が工事の続行に備え工事現場を維持し若しくは労働者、建設機械器具等を保持するための費用その他の工事の施工の一時中止に伴う増加費用を必要とし若しくは受注者に損害を及ぼしたときは 必要な費用を負担しなければならない。

○公共土木設計業務等標準委託契約約款
第20条 …暴風、豪雨、洪水…その他の自然的又は人為的な事象であって、受注者の責めに帰すことができないものにより、作業現場の状態が著しく変動したため、受注者が業務を行うことができないと認められるときは、発注者は、業務の中止内容を直ちに受注者に通知して、業務の全部又は一部を一時中止させなければならない。
2 発注者は、前項の規定によるほか、必要があると認めるときは、…業務の全部又は一部を一時中止させることができる。
3 発注者は、前2項の規定により業務を一時中止した場合において、必要があると認められるときは、履行期間若しくは業務委託料を変更し、又は受注者が業務の続行に備え業務の一時中止に伴う増加費用を必要としたとき若しくは受注者に損害を及ぼしたときは、その増加費用を負担し、若しくはその損害を賠償しなければならない。

○公共工事の品質確保の促進に関する法律（令和元年6月7日改正、令和元年6月14日施行）
＜発注者等の責務＞第7条第1項
七　…設計図書に示されていない施工条件又は調査等の実施の条件について予期することができない特別な状態が生じた場合その他の場合において必要があると認められるときは、適切に設計図書の変更及びこれに伴い必要となる請負代金の額又は工期等の変更を行うこと。この場合において、工期等が翌年度にわたることとなったときは、繰越明許費の活用その他の必要な措置を適切に講ずること。

問合せ先　国土交通省　東北地方整備局　企画部　技術管理課
課長　赤平 勝也　又は課長補佐　高橋 朋昭　Tel :022-261-4985（直通）
国土交通省　大臣官房　技術調査課　事業評価・保全企画官　辛嶋 亨　Tel :03-5253-8221（直通）

防災ヘリコプターによる調査

国土交通省

資料5-(1)

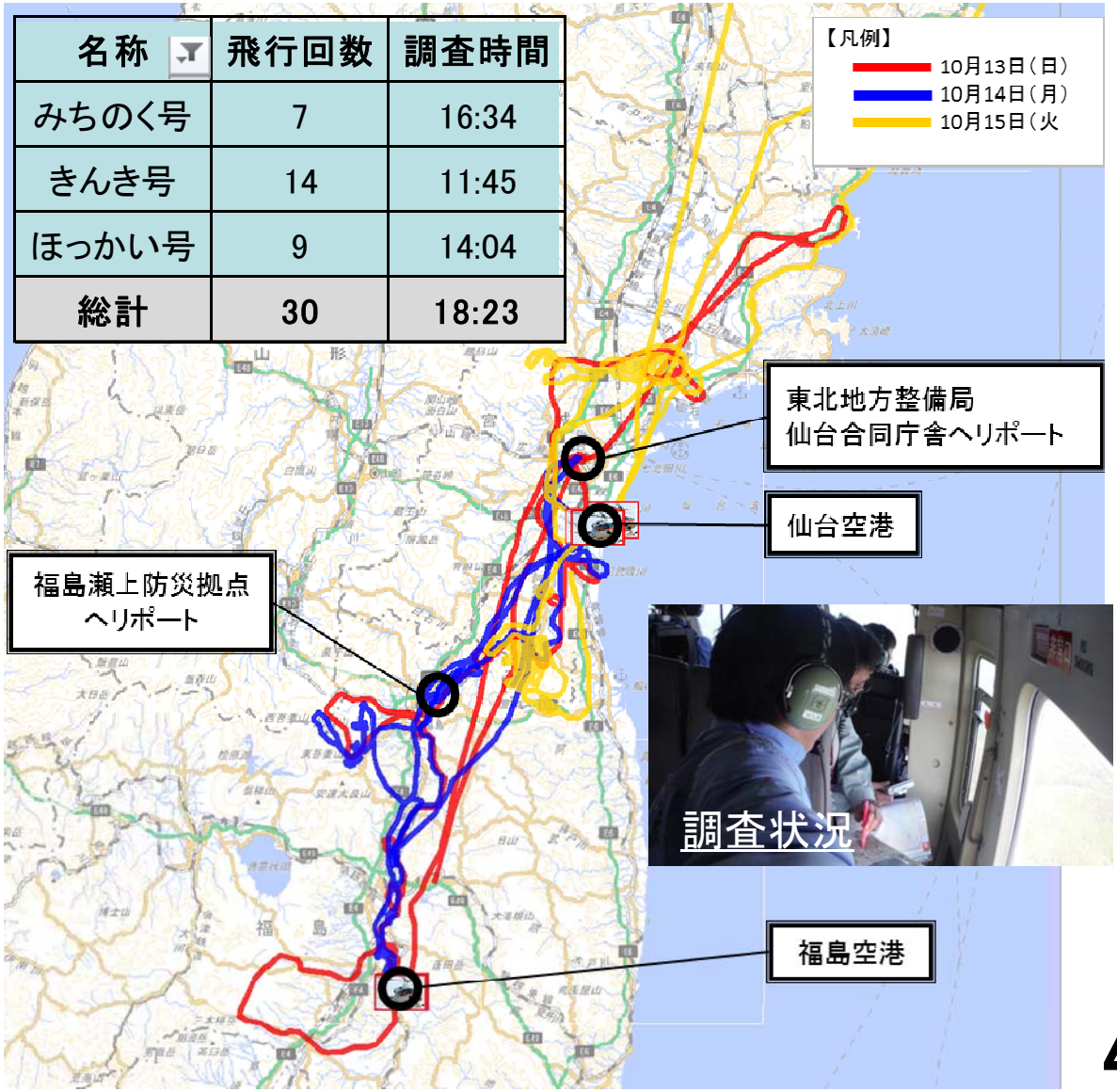
- 迅速な被害状況の調査のため、防災ヘリ「みちのく号(東北地整)」 に加え、「きんき号(近畿地整)」、「ほっかい号(北海道開発局)」の全3機体制で、これまで30回延べ約18時間の調査飛行を実施。
- また『災害等の相互応援に関する協定(H31.3.25)』に基づき、東北地方整備局のネットワークを最大限に活用し、県、関係機関などへ、リアルタイムに映像中継し情報共有を実施。

【みちのく号】

【きんき号】

【ほっかい号】

名称	飛行回数	調査時間
みちのく号	7	16:34
きんき号	14	11:45
ほっかい号	9	14:04
総計	30	18:23



［直轄］緊急復旧箇所図

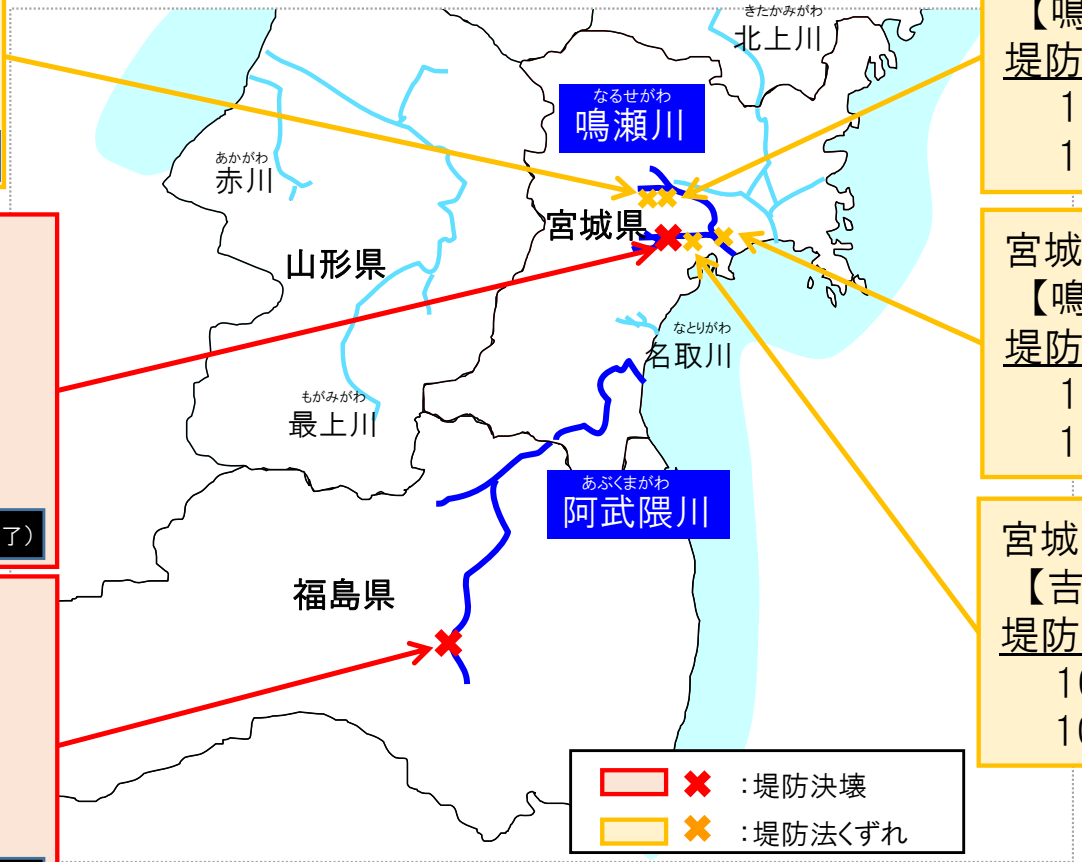
国土交通省

資料5-(2)

宮城県大崎市三本木廻山地先
【鳴瀬川 右岸38.4km付近】
堤防法崩れ L=約32m
10/14 22:00着手～
10/24 18:00完了
緊急災(完了)

別紙－1
宮城県黒川郡大郷町粕川地先
【吉田川 左岸20.9km付近】
堤防決壊 L＝約100m
10/13 12:00着手～
10/18 仮堤防盛土完了
10/27 17:00 完了
緊急災(完了)

別紙－2
福島県須賀川市浜尾地先
【阿武隈川 左岸98.6km付近】
堤防決壊 L＝約50m
10/14 15:00着手～
10/18 仮堤防盛土完了
11/ 8 20:00 完了
緊急災(完了)

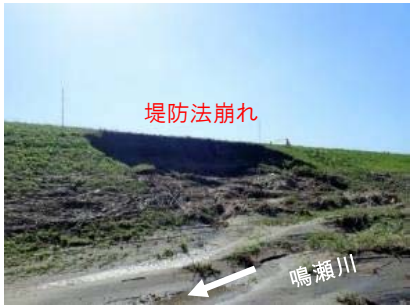


宮城県大崎市三本木蟻ケ袋地先
【鳴瀬川 右岸38.1km付近】
堤防法崩れ L=約40m
10/14 22:00着手～
10/24 18:00完了
緊急災(完了)

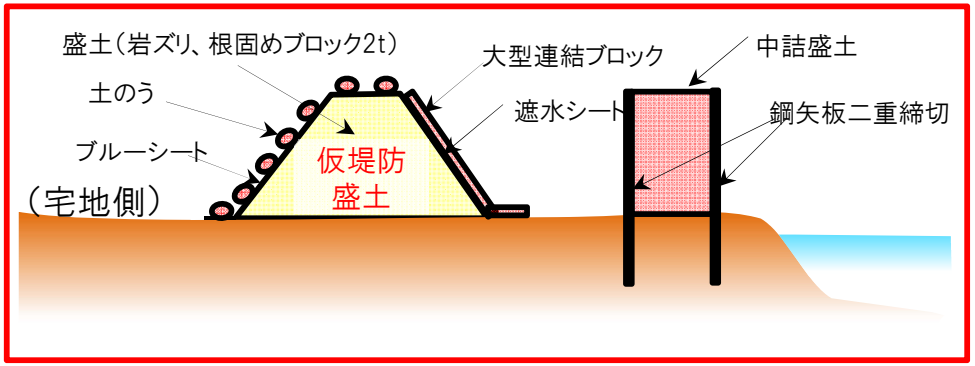
宮城県東松島市西福田白山地先
【鳴瀬川 左岸8.4km付近】
堤防法崩れ L=約279m
10/18 20:00着手～
10/31 17:00完了
緊急災(完了)

宮城県大崎市鹿島台大迫川北地先
【吉田川 左岸14.8km付近】 越水
堤防法崩れ L=約40m
10/14 22:00着手～
10/28 11:00完了
緊急災(完了)

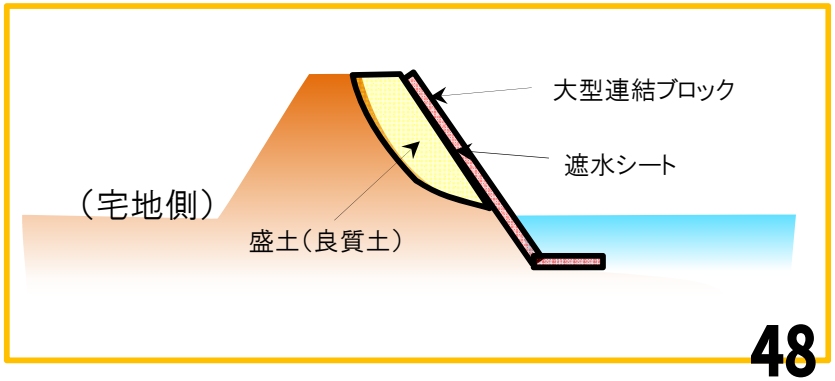
【被災状況 鳴瀬川右岸38.4k付近】



堤防決壊箇所 緊急復旧工法(イメージ)



堤防法崩れ箇所 緊急復旧工法(イメージ)



［直轄］吉田川堤防決壊箇所の緊急復旧工事の経過

国土交通省

吉田川左岸20.9k
宮城県黒川郡大郷町粕川字伝三郎地先

【堤防決壊箇所の被災状況】

［直轄］阿武隈川堤防決壊箇所の緊急復旧工事の経過

国土交通省

阿武隈川(上流)左岸98.6k
福島県須賀川市浜尾地先

【堤防決壊箇所の被災状況】

第1回　阿武隈川上流、鳴瀬川堤防調査委員会

国土交通省

第1回　阿武隈川堤防調査委員会（現地調査）

□日時　10月16日（木）11:00～12:00
□場所　須賀川市浜尾地内（左岸98.6k堤防決壊箇所）
□メンバー

	氏　名	所　属
委員長	髙橋　迪夫	日本大学　名誉教授
委員	長林　久夫	日本大学　名誉教授
委員	川越　清樹	福島大学大学院 共生システム理工学研究科 教授
委員	田中　仁	東北大学大学院　工学研究科　教授
委員	風間　基樹	東北大学　工学研究科　教授
委員	服部　敦	国土交通省　国土技術政策総合研究所 河川研究部　水防災システム研究官
委員	佐々木　哲也	国立研究開発法人土木研究所　地質・地盤研究グループ 土質・振動チーム　上席研究員

□今後の予定　※調査状況に応じて速やかに実施
　第2回　出水状況、被災概要、緊急復旧状況
　第3回　被災メカニズム、本復旧工法

第1回　鳴瀬川堤防調査委員会（現地調査）

□日時　10月16日（木）15:00～16:00
□場所　大郷町粕川地内（左岸20.9k堤防決壊箇所）
□メンバー

	氏　名	所　属
委員長	田中　仁	東北大学大学院工学研究科・工学部　教授
委員	梅田　信	東北大学大学院　工学研究科　准教授
委員	風間　基樹	東北大学　工学研究科　教授
委員	服部　敦	国土交通省　国土技術政策総合研究所 河川研究部　水防災システム研究官
委員	佐々木　哲也	国立研究開発法人土木研究所　地質・地盤研究グループ 土質・振動チーム　上席研究員

□今後の予定　※調査状況に応じて速やかに実施
　第2回　出水状況、被災概要、緊急復旧状況
　第3回　被災メカニズム、本復旧工法

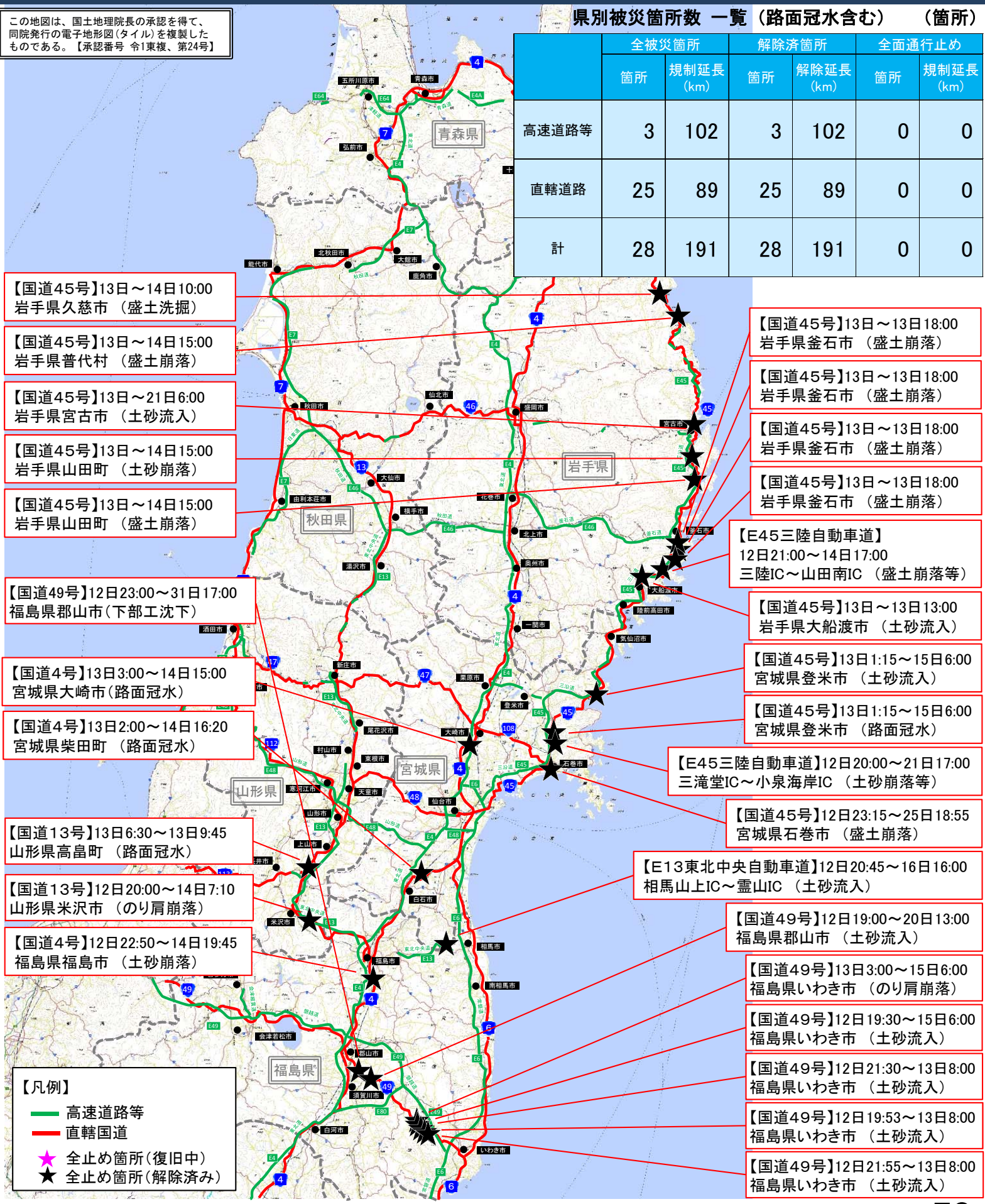
台風19号による被災箇所図（直轄道路）
被災による全止め箇所（R1.10.31 17:00現在）

資料5-（3）

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製したものである。【承認番号 令1東複、第24号】

県別被災箇所数 一覧（路面冠水含む） （箇所）

	全被災箇所		解除済箇所		全面通行止め	
	箇所	規制延長（km）	箇所	解除延長（km）	箇所	規制延長（km）
高速道路等	3	102	3	102	0	0
直轄道路	25	89	25	89	0	0
計	28	191	28	191	0	0



【国道45号】13日～14日10:00
岩手県久慈市 （盛土洗掘）

【国道45号】13日～14日15:00
岩手県普代村 （盛土崩落）

【国道45号】13日～21日6:00
岩手県宮古市 （土砂流入）

【国道45号】13日～14日15:00
岩手県山田町 （土砂崩落）

【国道45号】13日～14日15:00
岩手県山田町 （盛土崩落）

【国道49号】12日23:00～31日17:00
福島県郡山市（下部工沈下）

【国道4号】13日3:00～14日15:00
宮城県大崎市（路面冠水）

【国道4号】13日2:00～14日16:20
宮城県柴田町 （路面冠水）

【国道13号】13日6:30～13日9:45
山形県高畠町 （路面冠水）

【国道13号】12日20:00～14日7:10
山形県米沢市 （のり肩崩落）

【国道4号】12日22:50～14日19:45
福島県福島市 （土砂崩落）

【国道45号】13日～13日18:00
岩手県釜石市 （盛土崩落）

【国道45号】13日～13日18:00
岩手県釜石市 （盛土崩落）

【国道45号】13日～13日18:00
岩手県釜石市 （盛土崩落）

【国道45号】13日～13日18:00
岩手県釜石市 （盛土崩落）

【E45三陸自動車道】
12日21:00～14日17:00
三陸IC～山田南IC （盛土崩落等）

【国道45号】13日～13日13:00
岩手県大船渡市 （土砂流入）

【国道45号】13日1:15～15日6:00
宮城県登米市 （土砂流入）

【国道45号】13日1:15～15日6:00
宮城県登米市 （路面冠水）

【E45三陸自動車道】12日20:00～21日17:00
三滝堂IC～小泉海岸IC （土砂崩落等）

【国道45号】12日23:15～25日18:55
宮城県石巻市 （盛土崩落）

【E13東北中央自動車道】12日20:45～16日16:00
相馬山上IC～霊山IC （土砂流入）

【国道49号】12日19:00～20日13:00
福島県郡山市 （土砂流入）

【国道49号】13日3:00～15日6:00
福島県いわき市 （のり肩崩落）

【国道49号】12日19:30～15日6:00
福島県いわき市 （土砂流入）

【国道49号】12日21:30～13日8:00
福島県いわき市 （土砂流入）

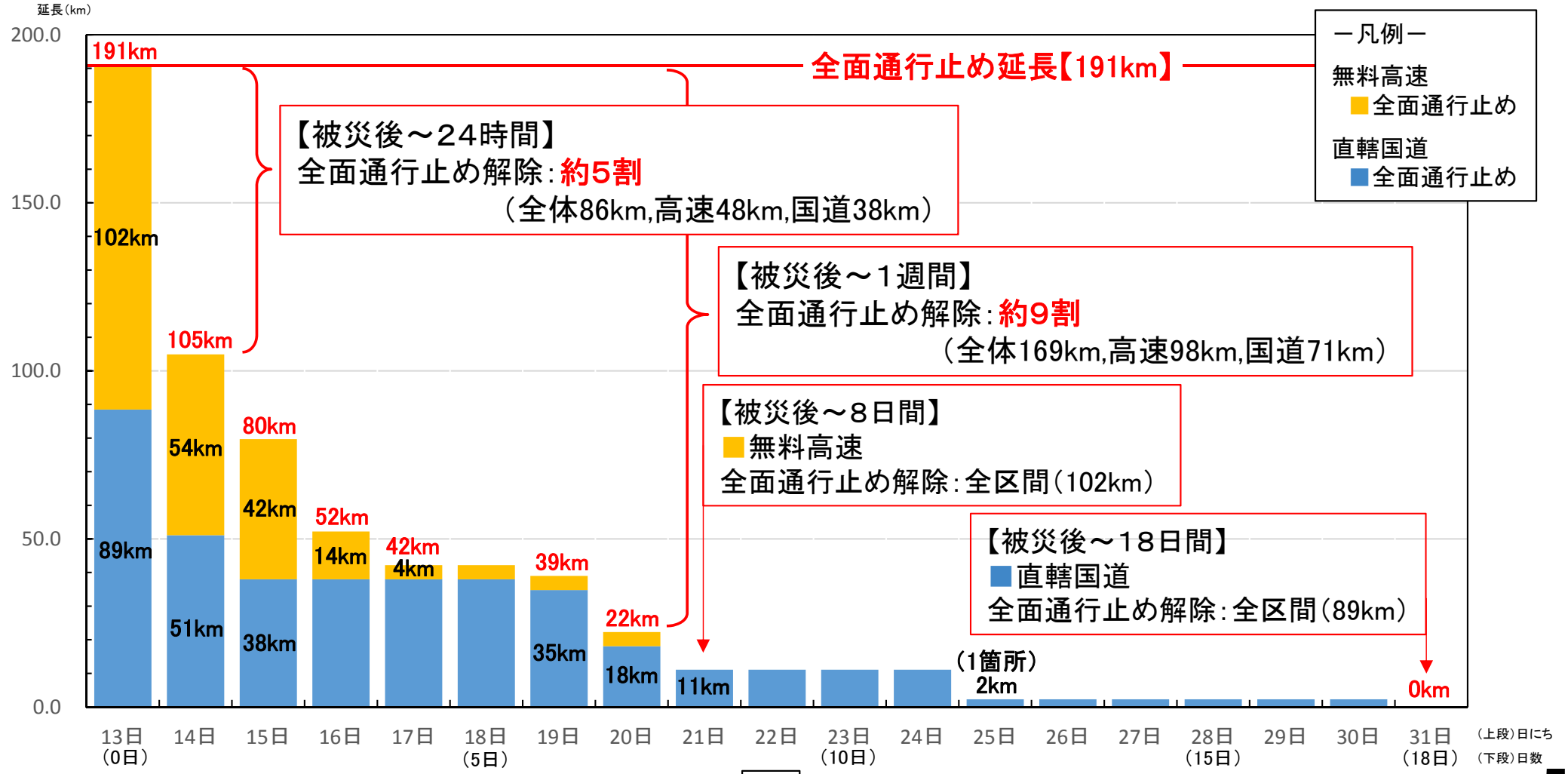
【国道49号】12日19:53～13日8:00
福島県いわき市 （土砂流入）

【国道49号】12日21:55～13日8:00
福島県いわき市 （土砂流入）

台風19号による全面通行止め解除延長の推移（直轄道路）

国土交通省

○直轄道路（無料高速を含む）28区間191kmの全面通行止めを24時間で約5割、1週間で約9割解除
○無料高速（102km）の全面通行止めを8日間で全て解除
○直轄道路（無料高速を含む）の全面通行止めを18日間（10月31日まで）で全て解除



台風19号による「被災（全止め）」から「復旧（解除）」（直轄道路）

国土交通省

国道45号【土砂流入】岩手県宮古市　13日（全止め）～21日6:00（解除）

▲被災（土砂流入）

▲復旧（解除）

国道45号【盛土崩落】宮城県石巻市成田　12日23:15（全止め）～25日18:55（解除）

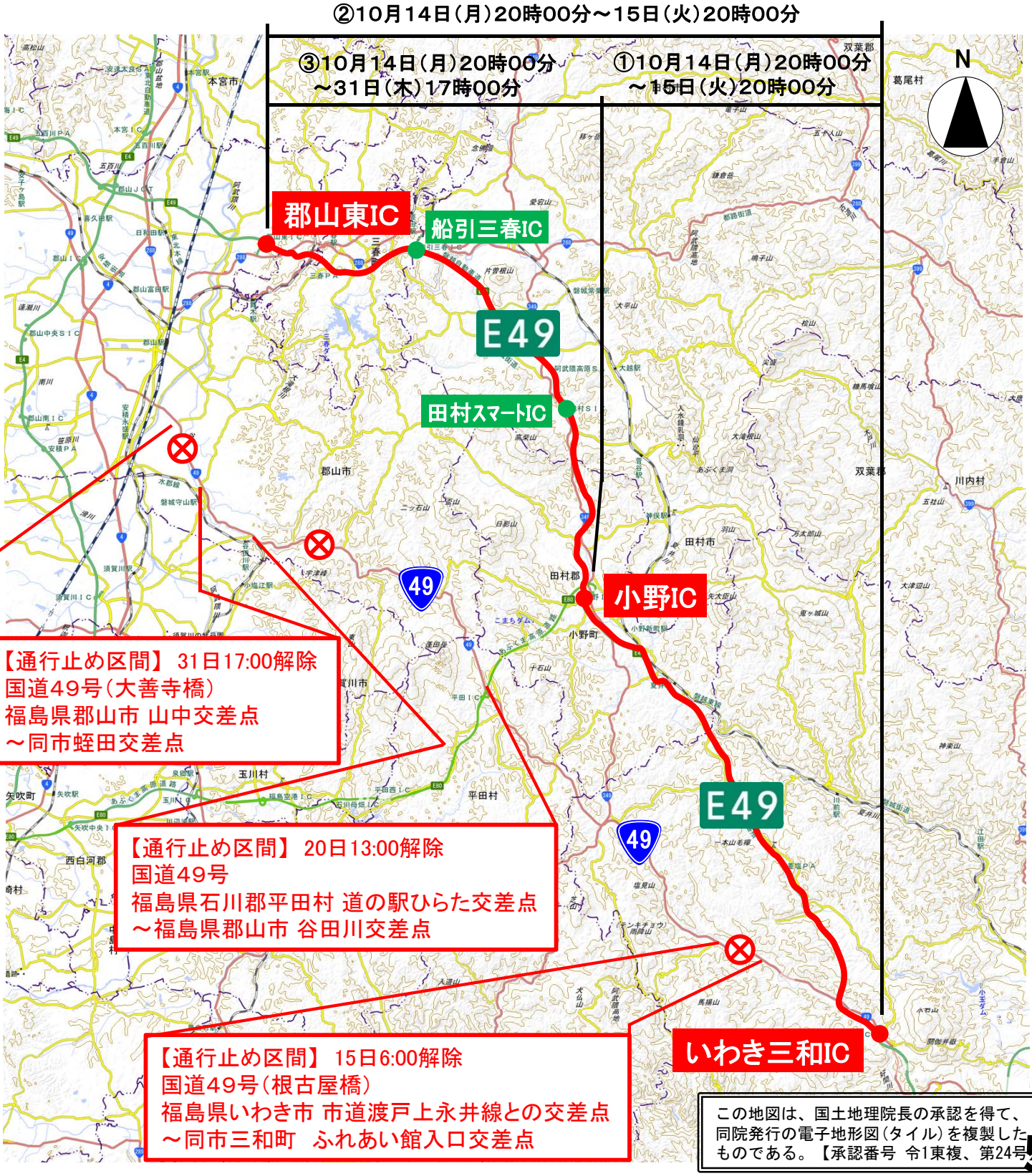
▲被災（盛土崩落）

▲復旧（解除）※一部終日片側交互通行規制有り

国道49号　代替路（無料）措置

台風19号による国道49号災害通行止めに伴う
E49常磐自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）の代替路（料措）措置

磐越道　代替路（無料措置）
対象区間　①いわき三和IC～小野IC　（約26.5km）
　　②いわき三和IC～郡山東IC（約55.0km）
　　③小野IC～郡山東IC　（約28.5km）



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製したものである。【承認番号　令1東複、第24号】

台風19号による工事中現場での被災状況（直轄道路）

国土交通省

国道45号　三陸沿岸道路（岩手県洋野町）

▲被災（土砂崩落、側溝流出）

国道45号　三陸沿岸道路（岩手県久慈市）

▲被災（トンネル内土砂流入、建設機械浸水）

国道45号　三陸沿岸道路（岩手県野田村）

▲被災（土砂崩落）

県道吉間田滝根線　広瀬改良（福島県田村市）

▲被災（工事中の下部工冠水）

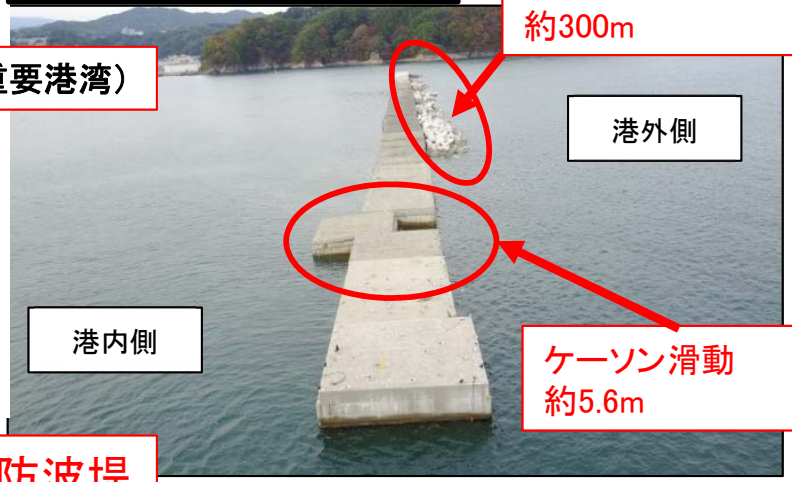
港湾関係被災状況【宮古港竜神崎地区防波堤】

国土交通省

資料5-(4)

宮古港竜神崎地区防波堤
整備主体　国(施工中)
計画延長　400m

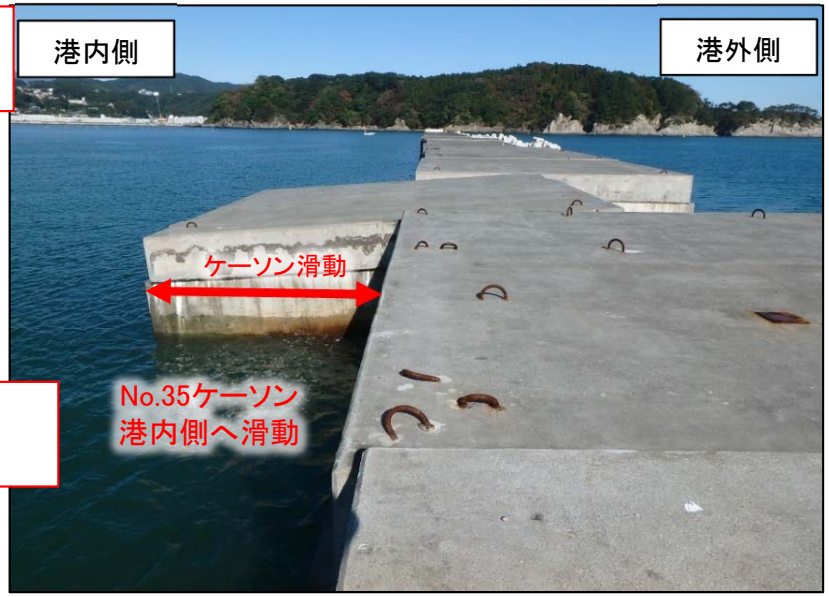
宮古港(重要港湾)



消波ブロック沈下
約300m

ケーソン滑動
約5.6m

被災を受けた防波堤



［権限代行］ 緊急復旧実施箇所（宮城県管理河川）

国土交通省

資料6-（1）

宮城県丸森町 愛宕田 地先
内川 3ヶ所 （①、②、③）

宮城県丸森町七反町 地先
内川 1ヶ所 （④）

宮城県丸森町中平北 地先
内川 2ヶ所 （⑤、⑥）

宮城県丸森町大目 地先
内川 1ヶ所 （⑦）

宮城県丸森町羽入前 地先
内川 1ヶ所 （⑧）

宮城県丸森町上林南 地先
内川 1ヶ所 （⑨）

宮城県丸森町前河原 地先
内川 1ヶ所 （⑩）

宮城県丸森町上地 地先
五福谷川 1ヶ所 （⑪）

宮城県丸森町畑中 地先
五福谷川 1ヶ所 （⑫）

宮城県丸森町中島 地先
五福谷川 1ヶ所 （⑬）

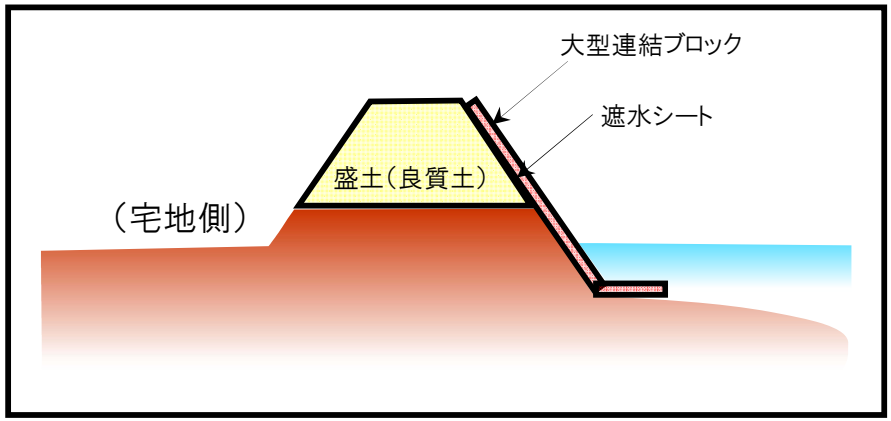
宮城県丸森町塚田 地先
五福谷川 1ヶ所 （⑭）

宮城県丸森町 愛宕田 地先
新川 1ヶ所（⑮）

宮城県丸森町土橋 地先
新川 2ヶ所 （⑯、⑰）

宮城県丸森町飯塚 地先
新川 1ヶ所 （⑱）

緊急復旧工法（イメージ）



［権限代行］緊急復旧実施箇所（宮城県管理河川）

国土交通省

（代表箇所）

阿武隈川水系内川（うちかわ）　①②③④　、新川（しんかわ）　⑮
宮城県丸森町（まるもりまち）愛宕田（あたごだ）、七反町（しちたんまち）地先

被災状況

緊急復旧工事完了

［権限代行］緊急復旧実施箇所（福島県管理河川）

国土交通省

福島県伊達市 梁川町二野袋 地先
滝川 1ヶ所 （①） 緊急災（完了）

福島県桑折町 伊達崎 地先
佐久間川 2ヶ所 （②③） 緊急災（完了）

福島県福島市 郷野目 地先
濁川 1ヶ所 （④） 緊急災（完了）

福島県本宮市 本宮地先
安達太良川 1ヶ所 （⑤）

福島県郡山市 日和田町地先
藤田川 1ヶ所 （⑥）

福島県郡山市 田村町下行合 地先
谷田川 2ヶ所 （⑦⑧） 緊急災（完了）

福島県鏡石町 河原 地先
鈴川 2ヶ所 （⑨⑩）
阿武隈川 1ヶ所 （⑪）

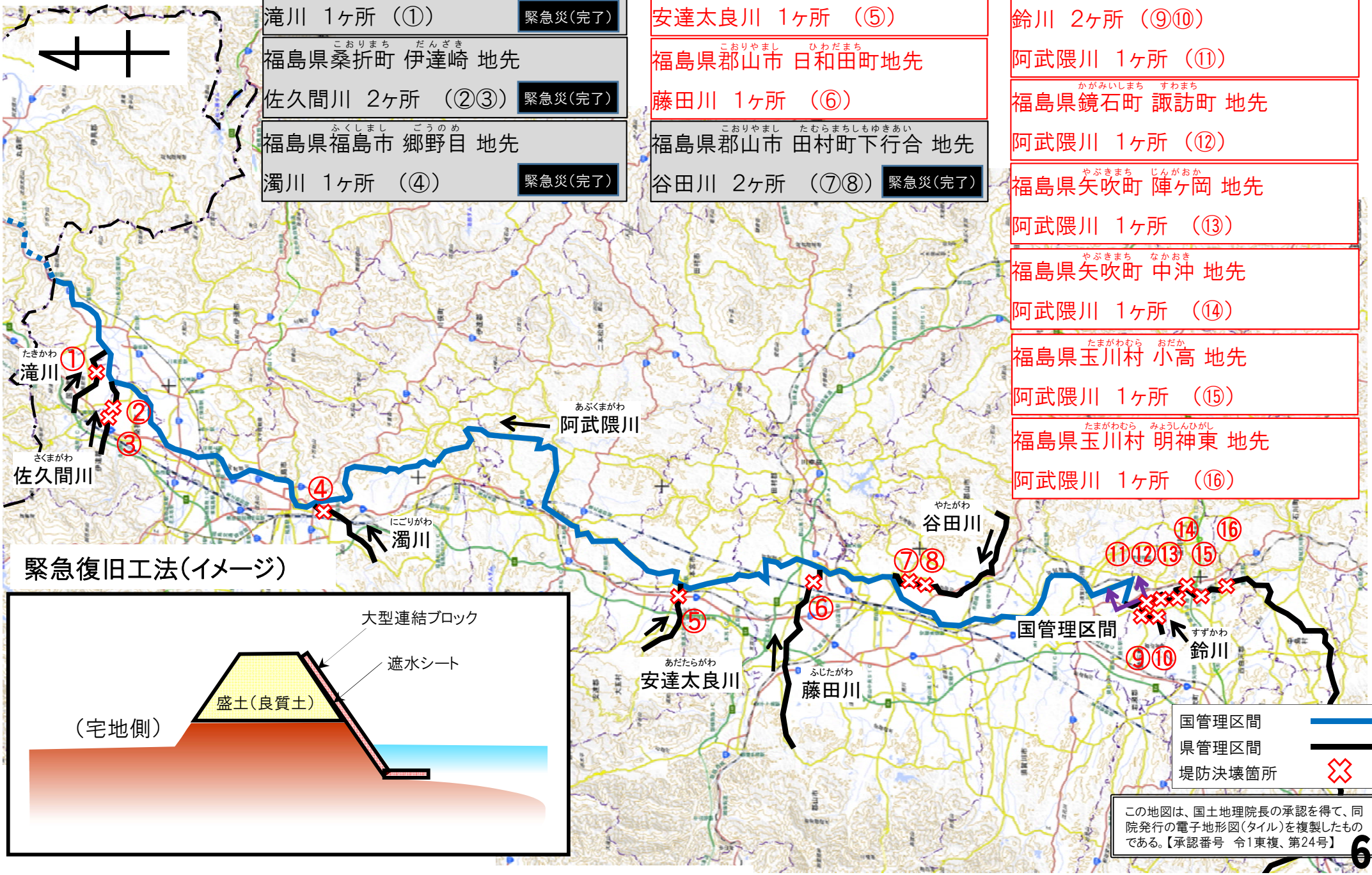
福島県鏡石町 諏訪町 地先
阿武隈川 1ヶ所 （⑫）

福島県矢吹町 陣ヶ岡 地先
阿武隈川 1ヶ所 （⑬）

福島県矢吹町 中沖 地先
阿武隈川 1ヶ所 （⑭）

福島県玉川村 小高 地先
阿武隈川 1ヶ所 （⑮）

福島県玉川村 明神東 地先
阿武隈川 1ヶ所 （⑯）



緊急復旧工法（イメージ）

国管理区間
県管理区間
堤防決壊箇所

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製したものである。【承認番号 令1東複、第24号】

［権限代行］緊急復旧実施箇所（福島県管理河川）

国土交通省

（代表箇所）

阿武隈川水系濁川　④福島県福島市郷野目地先

被災状況

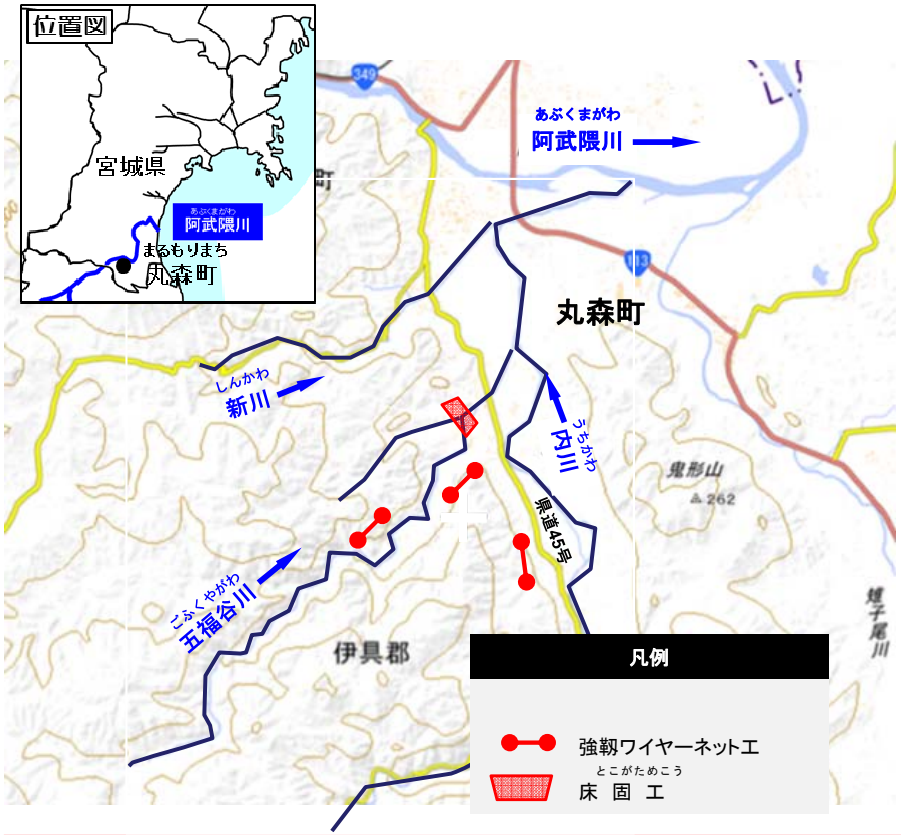
緊急復旧工事完了

丸森地区直轄砂防災害関連緊急事業による災害復旧状況

国土交通省

資料6-(2)

令和元年台風第19号よりに阿武隈川水系内川流域において発生した大規模な土砂災害について、流域内に堆積した不安定土砂等の再移動による二次災害を防ぐための緊急的な対策として、床固工(とこがためこう)、強靭ワイヤーネットエ　等を鋭意施工中。



被害概要(内川流域)

【内川】 搬入路造成

【五福谷川】 除石

ワイヤーネットエ　設置イメージ

床固工　設置イメージ

〇土砂災害による被害状況　(令和元年11月7日時点)

・死者5名　　等

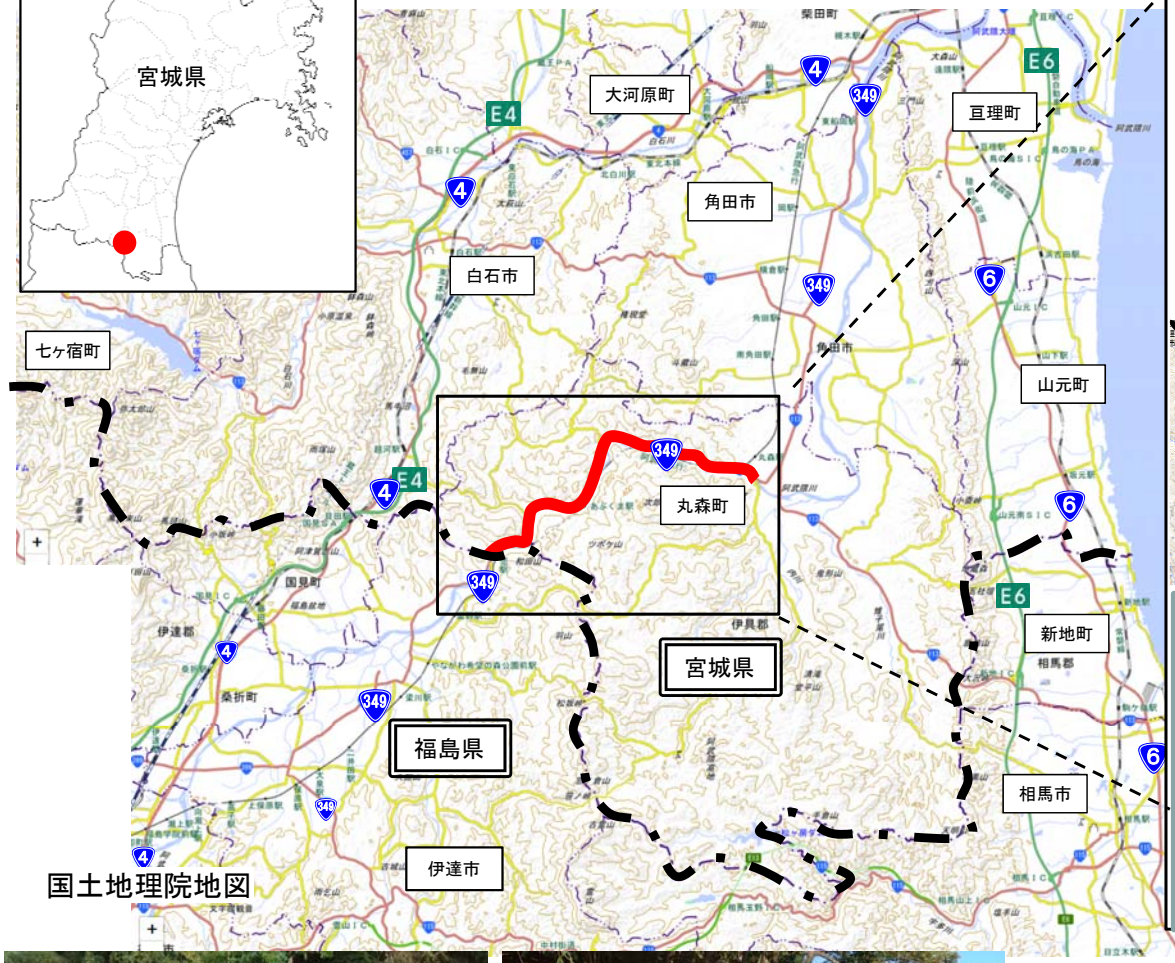
・阿武隈川水系内川流域において、
大内　(おおうち)観測所で連続雨量612mm※1を記録し、
土石流や流木が発生し人家等に被害が発生。

※1　速報値であり、今後変更の可能性があります。

大規模災害復興法に基づく直轄権限代行 位置図（国道349号）

国土交通省

資料6-（3）



・全線土砂堆積
・29箇所で法面崩落・路肩流出等の被災

10/31道路啓開完了

○路面土砂撤去
○橋梁下の閉塞土砂撤去
○車線拡幅用大型土のう製作・設置

R1.11.11時点

▲橋梁下閉塞土砂撤去作業状況

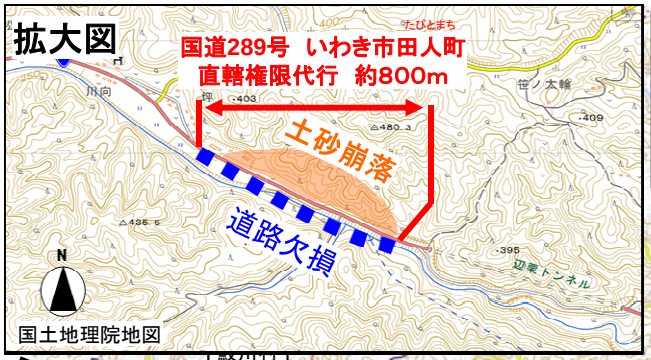
▲大型土のう製作・設置作業状況

▲トンネル坑口土砂撤去・搬出作業状況

▲土砂撤去・整地作業状況

大規模災害復興法に基づく直轄権限代行 位置図（国道289号）

国土交通省



▲被災箇所全体の拡大写真

▲大型土のう製作

▲大型土のう設置

R1.11.11時点

○大規模土砂崩落部は、現時点も崩落の危険もあることから、現地復旧作業は回避
○それ以外の区間として、路面等土砂撤去、安全施設仮復旧、大型土のう製作・設置　を実施

各協力団体等による支援活動

■　災害発生時の復旧等の緊急対応を迅速に行うため、東北地方整備局では関係団体と応急対策業務等の協力協定を締結。
■　各団体の協力を頂きながら復旧活動や地域支援を実施中。

主な協力団体	主な活動内容
防災エキスパート	被害情報の収集、応急復旧対策立案支援
（一社）東北測量設計協会	ドローンによる被災状況調査支援
東北建設業協会連合会	河川や道路の被災箇所復旧支援
（一社）東北地域づくり協会	TEC-FORCE活動拠点の提供
（一社）日本建設業連合会東北支部	市町村からの要請物資提供の支援
（一社）日本道路建設業協会東北支部	道路被災箇所の復旧支援
（一社）日本橋梁建設協会	橋梁の応急復旧方法等の技術的助言
(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会東北支部	橋梁の応急復旧方法等の技術的助言
宮城県石油商業協同組合	排水ポンプ車への燃料供給
（一社）日本補償コンサルタント協会東北支部	用地調査等の実施
（一社）建設電気技術協会東北支部	堤防決壊箇所の光ファイバー復旧支援
（公社）全国土木コンクリートブロック協会	河川復旧用コンクリートブロック調達
（一社）建設コンサルタンツ協会東北支部	河川堤防等の被害状況を調査
（一社）日本埋立浚渫協会東北支部	防波堤の被害状況を調査
（一社）東北地質調査業協会	地質調査等の実施

防災エキスパート

国土交通省

■　公共土木施設の整備、管理の専門家である「防災エキスパート※」の得て、被害情報の収集、効果的な応急復旧対策を立案。

（11月12日時点　のべ57人活動）

事務所におけるアドバイス、打合せ状況

現地におけるアドバイス、打合せ状況

○防災エキスパートとは（「制度要領」より）

公共土木施設の整備・管理等に関する専門的ノウハウを持ち、災害発生時に公共土木施設の被災情報の迅速な収集等の協力活動を、自主的かつ無報酬で行うものとして登録した者。

災害対策等締結団体の協力（（一社）東北測量設計協会）

国土交通省

■　災害発生時の復旧等の緊急対応を迅速に行うため、東北地方整備局では関係団体と応急対策業務等の協力協定を締結。

■　（一社）東北測量設計協会では、宮城県丸森町のドローンによる被災状況調査を迅速に実施。調査映像の災対本部へ中継も行った。

Ku-SATを使ったドローン映像の中継を実施

ドローン調査映像（宮城県丸森町）

東北地方整備局職員との打合せ状況

災害対策等締結団体の協力（東北建設業協会連合会）

国土交通省

■　災害発生時の復旧等の緊急対応を迅速に行うため、東北地方整備局では関係団体と応急対策業務等の協力協定を締結。

■　宮城県建設業協会（東北建設業協会連合会所属）では、宮城県丸森町の道路啓開を迅速に実施。

丸森町役場で協会と、国、県、町、自衛隊などが打合せ

宮城県丸森町国道349号の道路啓開作業状況（宮城県建設業協会）

災害対策等締結団体の協力（東北建設業協会連合会）

国土交通省

■　災害発生時の復旧等の緊急対応を迅速に行うため、東北地方整備局では東北建設業協会連合会と応急対策業務等の協力協定を締結。
■　出水で決壊等の被害があった河川堤防について、地元の建設業者等に協力を頂きながら、24時間体制で復旧作業を実施中。

18箇所もの堤防決壊被害があった宮城県管理区間の阿武隈川水系内川、五福谷川及び新川において、宮城県からの要請を受け、国が権限代行により、宮城県建設業協会の協力を得て、10月23日18時より緊急復旧工事を実施中。

災害対策等締結団体の協力（東北建設業協会連合会）

国土交通省

■　災害発生時の復旧等の緊急対応を迅速に行うため、東北地方整備局では東北建設業協会連合会と応急対策業務等の協力協定を締結。
■　出水で決壊等の被害があった河川堤防について、地元の建設業者等に協力を頂きながら、24時間体制で復旧作業を実施中。

16箇所もの堤防決壊被害があった福島県管理区間の阿武隈川水系阿武隈川、滝川、佐久間川、濁川、安達太良川、藤田川、谷田川、鈴川において、福島県からの要請を受け国が権限代行により、福島県建設業協会の協力を得て、10月26日9時より緊急復旧工事に着手しています。

災害協定等締結団体の協力（（一社）東北地域づくり協会）

国土交通省

- 災害発生時の災害対応を迅速、効果的に行うため、東北地方整備局は（一社）東北地域づくり協会と「防災業務の応援に係る協定」を締結。（H15.3.27）
- 協定締結後、初となる東北地方整備局災害対策本部の代替箇所の提供として10/20に「TEC-FORCE活動支援センター」を設置し、災害対応の支援を実施。

- 台風第19号では、全国から応援派遣を受け、63班229名が活動中。（10/22時点）
- このうち宮城県丸森町などの被災状況調査を行っている、北海道開発局8班32名が調査取りまとめ等の作業を実施。

被災状況確認（道路）（宮城県丸森町大張）

被災状況確認（河川）（宮城県丸森町・小屋柵川）

災害対策等締結団体の協力（（一社）日本建設業連合会東北支部）

国土交通省

■　災害発生時の復旧等の緊急対応を迅速に行うため、東北地方整備局では関係団体と応急対策業務等の協力協定を締結。

■　日建連（（一社）日本建設業連合会東北支部）では、迅速に東北地方整備局災害対策本部にリエゾンを派遣し、物資等の要請に対応。

東北地方整備局職員との打合せ状況

10月15日　福島県から
ブルーシート2000枚の要請

↓

東北地方整備局から
日建連東北支部に協力依頼

↓

翌日（10月16日）には
日建連東北支部から搬入

災害対策等締結団体の協力（（一社）日本道路建設業協会東北支部）

国土交通省

■ 災害発生時の復旧等の緊急対応を迅速に行うため、東北地方整備局では、関係団体と応急対策業務等の協力協定を締結。

■ （一社）日本道路建設業協会東北支部では、迅速に岩手県内の三陸沿岸道路や国道45号の応急復旧を実施。

応急復旧状況（国道45号宮古市大字崎山地内）

応急復旧状況（国道45号宮古市大字崎山地内）

土砂撤去状況（山田宮古道路　山田北IC～宮古南IC）

応急復旧状況（国道45号宮古市大字崎山地内）

災害対策等締結団体の協力（（一社）日本橋梁建設協会）

国土交通省

■　災害発生時の復旧等の緊急対応を迅速に行うため、東北地方整備局では関係団体と応急対策業務等の協力協定を締結。

■　橋建協（（一社）日本橋梁建設協会）では福島県矢祭町の高地原橋の　応急復旧等に関し、現地調査を行い、町へアドバイス等を実施。

矢祭町長、Tec-Force、橋建協合同の現地調査を実施

矢祭町役場における打合せ状況

災害対策等締結団体の協力（（一社）PC建設業協会）

国土交通省

■ 災害発生時の復旧等の緊急対応を迅速に行うため、東北地方整備局では、関係団体と応急対策業務等の協力協定を締結。

■ ＰＣ建協（（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会）では、福島県内の国道４９号の「大善寺（だいぜんじ）橋」の現地調査を実施。

ＰＣ建協による現地調査

応急復旧等の合同打合せ状況

災害対策等締結団体の協力（宮城県石油商業協同組合）

国土交通省

■　災害発生時の復旧等の緊急対応を迅速に行うため、東北地方整備局では関係団体と応急対策業務等の協力協定を締結。

■　宮城県石油商業協同組合では、吉田川堤防決壊に伴う浸水域の排水を行う排水ポンプ車等に対し、協定に基づき燃料を供給。

中部地方整備局から駆けつけた排水ポンプ車に燃料を供給

災害対策等締結団体の協力（（一社）日本補償コンサルタント協会東北支部）

■　災害発生時の復旧等の緊急対応を迅速に行うため、東北地方整備局では関係団体と応急対策業務等の協力協定を締結。

■　（一社）日本補償コンサルタント協会東北支部では、宮城県丸森町内の国道349号の復旧工事に必要な用地調査等を実施。

宮城県丸森町内の国道349号における用地調査等のための現地調査の作業状況

災害対策等締結団体の協力（（一社）建設電気技術協会東北支部）

国土交通省

■ 災害発生時における電気・通信施設の復旧等を迅速に行うため、東北地方整備局は、（一社）建設電気技術協会東北支部と「災害応急対策業務に関する協定」を締結。
■ 台風19号による出水で被害のあった、河川管理用光ファイバーケーブルの緊急復旧工事を実施。

光ファイバーケーブル被害状況

緊急復旧工事実施状況

緊急復旧工事に向けた現地調査実施状況

※「災害時における東北地方整備局所管（電気・通信）施設の災害応急対策業務に関する協定」：被害拡大の防止と被害施設の早期復旧のため、東北地方整備局長と建設電気技術協会東北支部長とが締結している協定。

災害対策等締結団体の協力（（公社）全国土木コンクリートブロック協会）

■　災害発生時の復旧等の緊急対応を迅速に行うため、東北地方整備局では関係団体と応急対策業務等の協力協定を締結。

■　（公社）全国土木コンクリートブロック協会では、東北地方整備局からの応急復旧用資材の協力要請に対し、迅速にコンクリートブロックを納入。

東北地方整備局職員との打合せ状況

阿武隈川浜尾地区コンクリートブロック設置状況

コンクリートブロック納入状況

2019/11/14時点

納入現場	種別	数量（m2）
（宮城県丸森町） 阿武隈川権限代行 河川復旧現場	大型 連結	6，350
（福島県内） 阿武隈川権限代行 河川復旧現場	大型 連結	9，950
（福島県須賀川市） 阿武隈川浜尾地区 堤防緊急復旧現場	大型 連結	1，000
合　計		17，300

災害対策等締結団体の協力（（一社）建設コンサルタンツ協会東北支部）

■　災害発生時の復旧等の緊急対応を迅速に行うため、東北地方整備局では関係団体と応急対策業務等の協力協定を締結。

■　（一社）建設コンサルタンツ協会東北支部では、迅速に河川の被害状況等の調査を実施。

河川管理者と合同で河川護岸等の被害状況を調査（阿武隈川）

河川管理者と合同で堤防調査を実施（阿武隈川）

河川護岸等の被害状況を調査（雄物川）

災害対策等締結団体の協力（（一社）日本埋立浚渫協会東北支部）

国土交通省

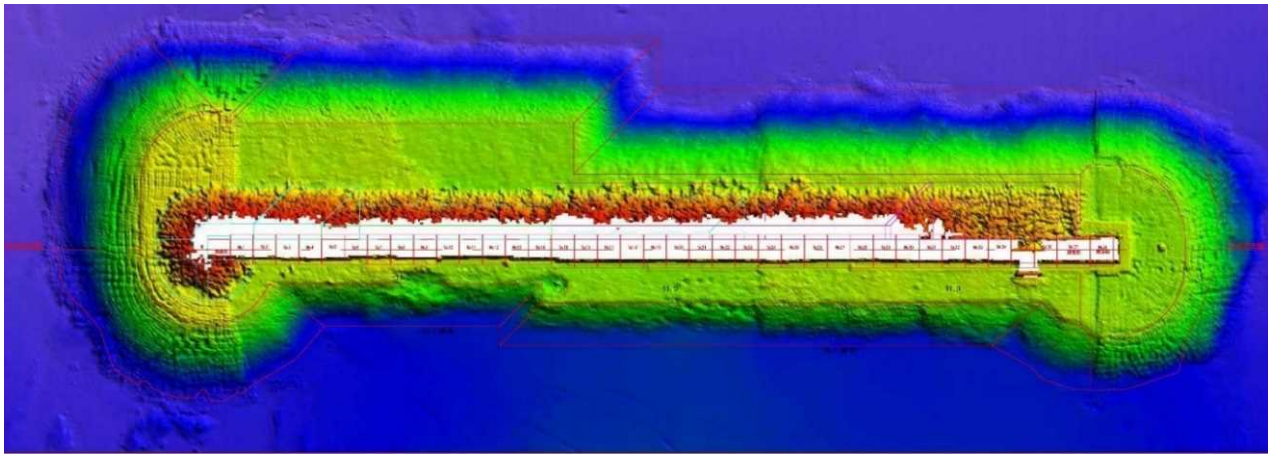
■　災害発生時の復旧等の緊急対応を迅速に行うため、東北地方整備局では関係団体と応急対策業務等の協力協定を締結。

■　（一社）日本埋立浚渫協会東北支部では、台風19号による被災後、すみやかに竜神崎地区防波堤の水上・水中・ケーソン滑動箇所の確認・調査を実施。

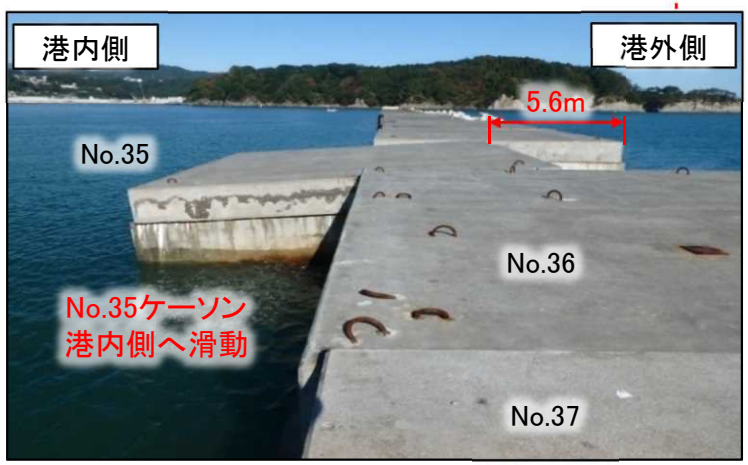
撮影年月日：R1.10.16
竜神崎地区防波堤水上部の現地確認状況

撮影年月日：R1.11.04
調査船による水中部の現地測量状況
（ナローマルチ）

撮影年月日：R1.11.18
潜水士の撮影による滑動ケーソンの
基礎部分被災状況



〔参考〕ナローマルチ測量による被災防波堤の水中部状況



撮影年月日：R1.10.16
竜神崎地区防波堤ケーソン滑動状況

災害対策等締結団体の協力（（一社）東北地質調査業協会）

国土交通省

■　災害発生時の復旧等の緊急対応を迅速に行うため、東北地方整備局では関係団体と応急対策業務等の協力協定を締結。

■　（一社）東北地質調査業協会では、土砂災害が発生した宮城県丸森町における砂防堰堤の設計に必要な地質調査等を迅速に実施。

現地踏査状況

ボーリング実施状況

七ヶ宿ダムの治水効果（阿武隈川下流_宮城県）

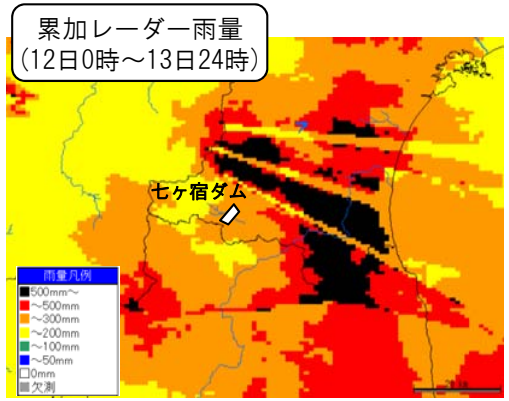
国土交通省

資料8

○台風１９号に伴う降雨により、七ヶ宿ダム地点の累加雨量は１７９㎜に達し、**最大流入量は毎秒５１８立方メートル［管理開始(H4)以降第３位］**を記録しました。

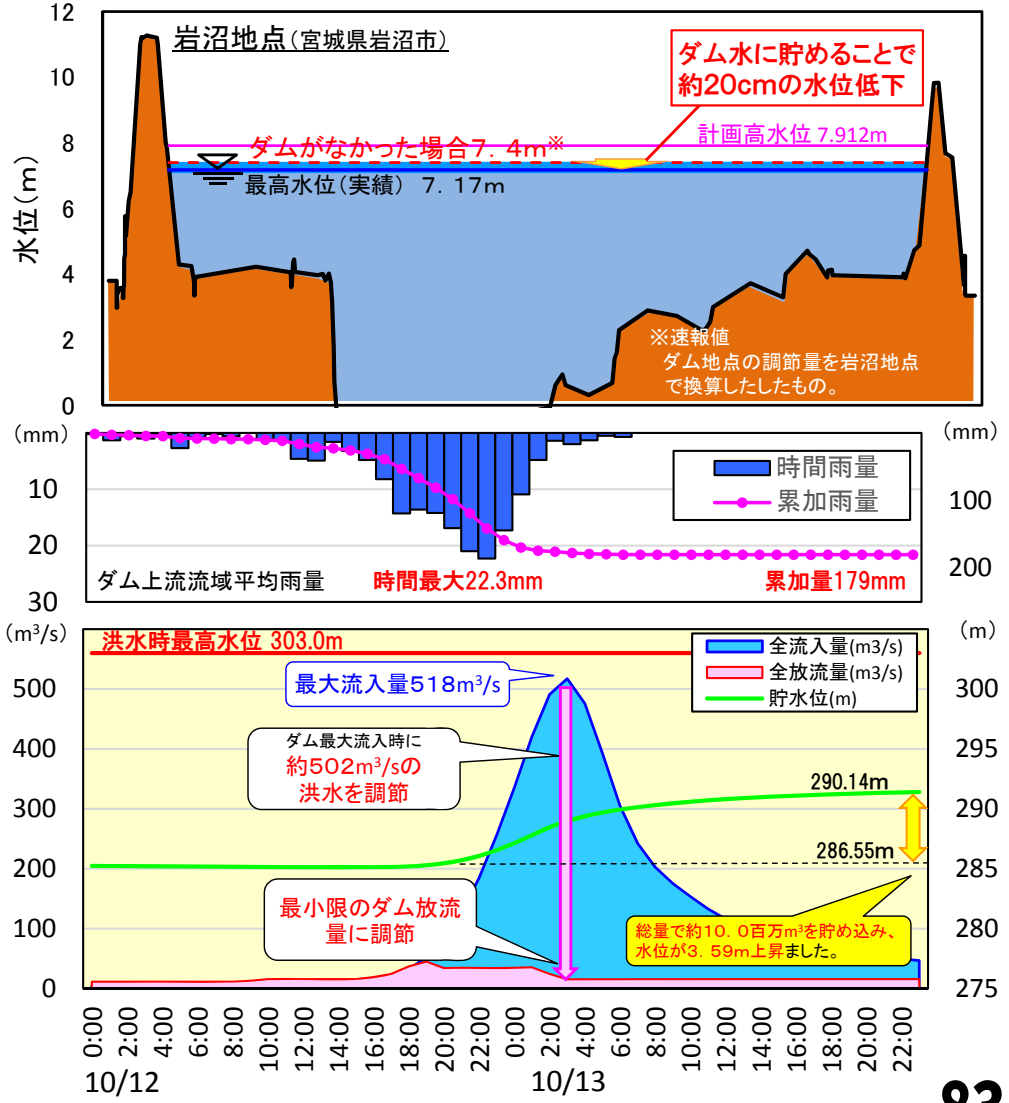
○**ダム下流への放流量を最小限**にとどめ、**ダムに流れてくる水量を（約10.0百万m³※東京ドーム約8個分）を最大限貯め込み**、ダムが無かった場合に比べ、**ダム下流の岩沼地点（宮城県岩沼市）の河川水位を約２０ｃｍ低減**することが出来たと推定されます。

七ヶ宿ダム諸元（国土交通省管理）	
型　式	ロックフィルダム
ダム高	９０．０m
堤頂長	５６５．０m
総貯水容量	１０９百万m³
有効貯水容量	９９．５百万m³



10月12日　15:00

10月14日　9:00時点の貯水位



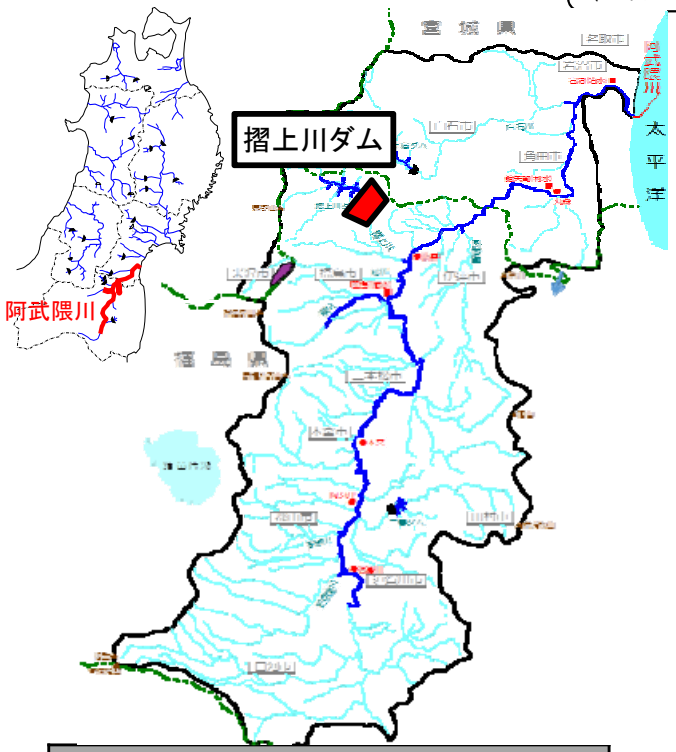
※記載の数値は速報値であり、今後変更の可能性があります。

摺上川ダムの治水効果（阿武隈川上流_福島県）

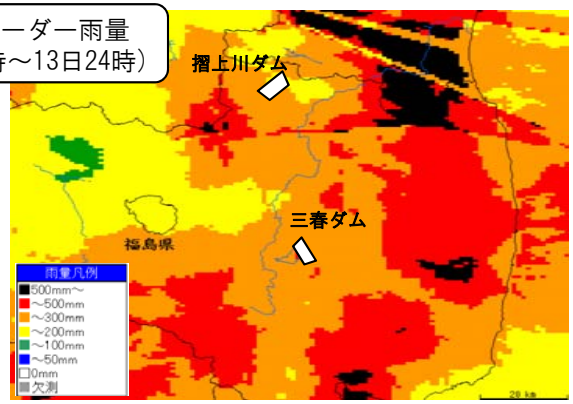
国土交通省

○台風１９号に伴う降雨により、摺上川ダム地点の累加総雨量は215mmに達し、**最大流入量は毎秒５２３立方メートル［管理開始(H18)以降第１位］**を記録しました。

○**ダム下流への放流量を最小限**にとどめ、**ダムに流れてくる水量の一部（約14.4百万m³※東京ドーム約12個分）を貯め込み**、ダムが無かった場合に比べ、**ダム下流の伏黒地点（伊達市）の河川水位を約３０ｃｍ低減**することが出来たと推定されます。



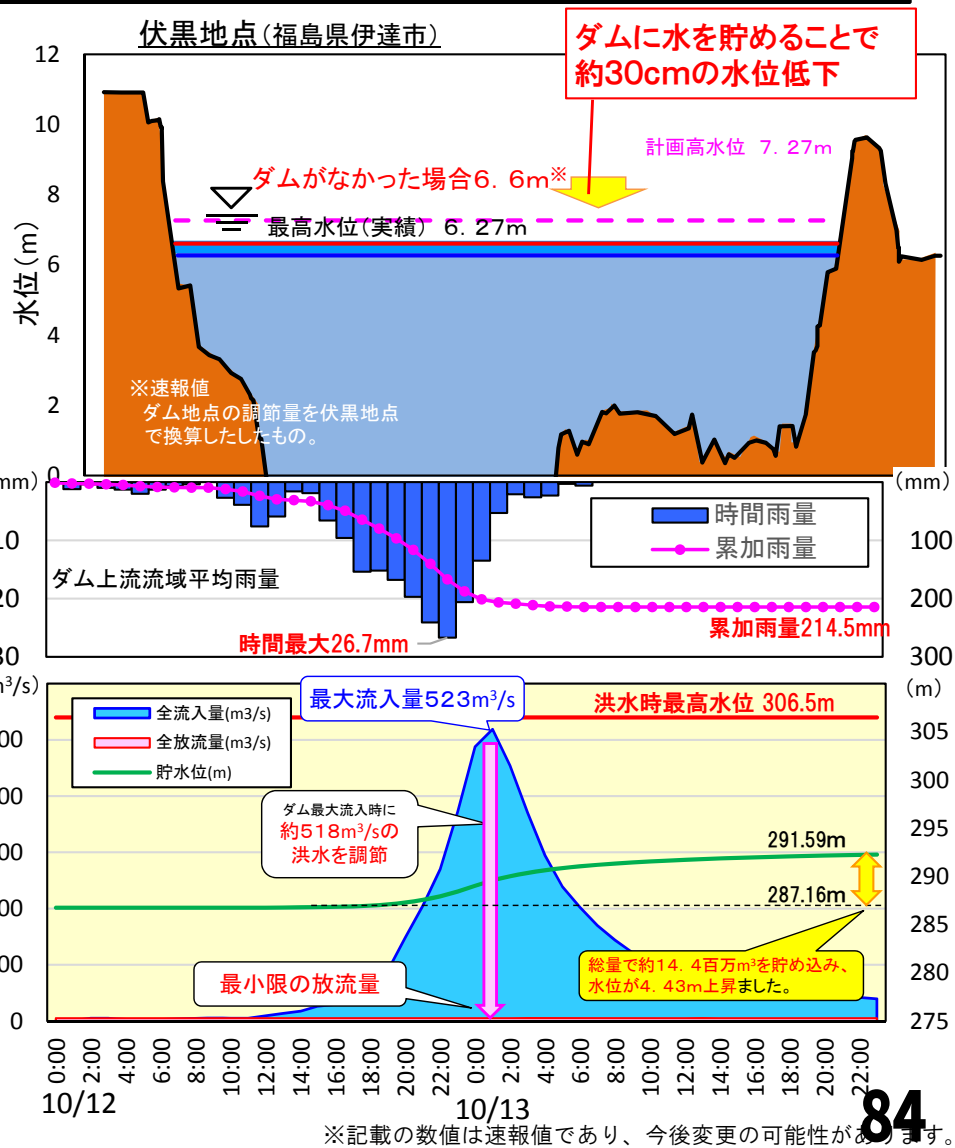
累加レーダー雨量
（12日0時～13日24時）



10月12日　9:00時点の貯水位

10月14日　9:00時点の貯水位

摺上川ダム諸元（国土交通省管理）	
型　式	ロックフィルダム
ダム高	１０５．０ｍ
堤頂長	７１８．６ｍ
総貯水容量	１５３百万m³
有効貯水容量	１４８百万m³



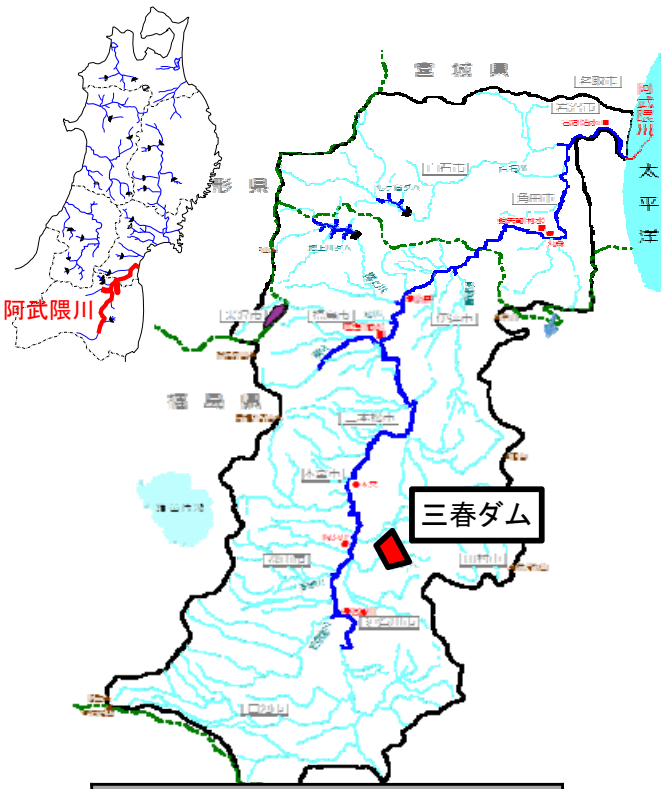
※記載の数値は速報値であり、今後変更の可能性があります。

三春ダムの治水効果（阿武隈川上流_福島県）

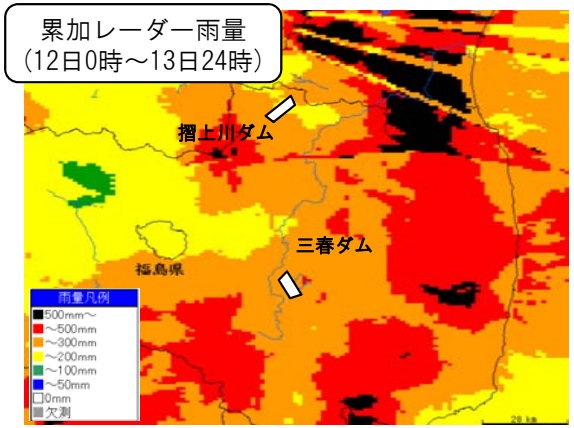
国土交通省

○台風１９号に伴う降雨により、三春ダム地点の累加総雨量は２９４㎜に達し、**最大流入量は毎秒６１３立方メートル［管理開始(H10)以降第１位］**を記録しました。

○**ダム下流への放流量を最小限**にとどめ、**ダムに流れてくる水量の一部（約17.9百万m³※東京ドーム約14個分）を貯め込み**、ダムが無かった場合に比べ、**ダム下流の阿久津地点（郡山市）の河川水位を約８０ｃｍ低減し、越水氾濫の時間を短縮**することが出来たと推定されます。



三春ダム諸元（国土交通省管理）	
型　式	重力式コンクリートダム
ダム高	６５．０ｍ
堤頂長	１７４．０ｍ
総貯水容量	４２．８百万m³
有効貯水容量	３６．０百万m³



10月12日　9:00時点の貯水位

10月14日　9:00時点の貯水位